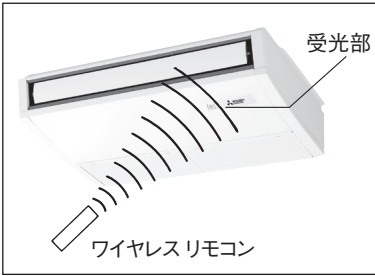


天吊形ワイヤレスリモコン受光部

● PAR-SR2EA

使用目的 / 用途



- 本品は、天吊形の本体組み込み用のワイヤレスリモコン受光部です。
- ワイヤレスリモコンにする場合、本品のほかにワイヤレスリモコン操作部 (PAR-SC4UA) が必要になります。
- 本品は本体下面のブランドラベルケース部への取り付けとなります。

注意

・蛍光灯 (特にインバータタイプ) 等の照明の影響を受け、信号が受信できない場合がありますので、蛍光灯の新設時・買換時等には注意してください。

対象ユニット

- PC-RP40 ~ 160KA(L)17

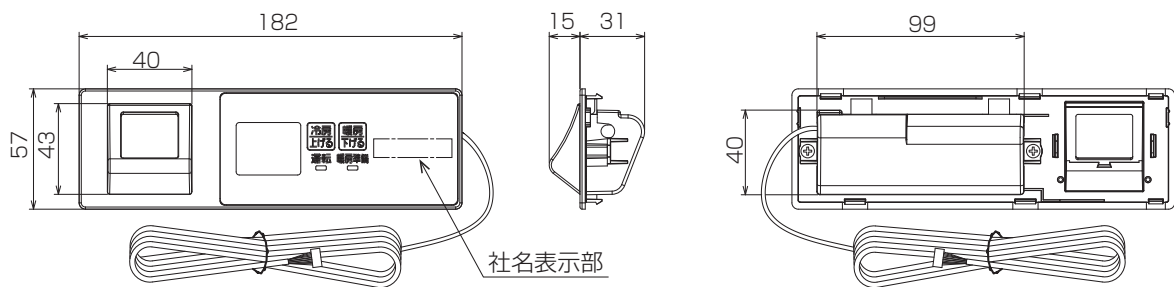
PC-RP・KAL17形 <ワイヤレス>タイプは、受光部が標準装備されています。

仕様

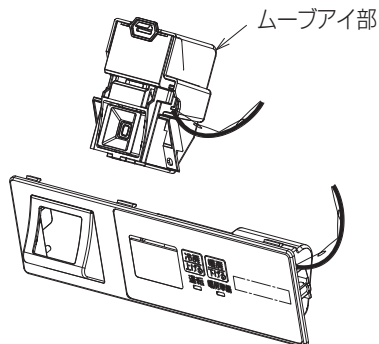
形名	PAR-SR2EA
運転表示ランプ	運転時：LED (緑色) 点灯表示、異常時：LED (緑色) 点滅表示
応急運転	暖房準備中：LED (オレンジ色) 点灯表示 冷房 (運転 / 停止) 兼昇降 (上がる) ボタン、暖房 (運転 / 停止) 兼昇降 (下がる) ボタン装備
ユニット制御台数	1グループ最大 16 冷媒系統 (ただし、1 冷媒系統毎に 1 台以上ワイヤレス受光部を設置してください)
アダプタ配線	コネクタ付 9 芯コード (付属) を室内ユニット制御基板上のコネクタ (CN90) に接続
受光範囲	受光部正面より 45° の範囲で 7m 以内 (条件により異なります)
使用環境条件	温度：0 ~ 40℃、湿度：30 ~ 90% (結露なきこと)
外装	ABS 樹脂、ピュアホワイト (マンセルNo.6.4Y8.9/0.4)
据付方法	室内ユニットブランドラベルケース部に取り付け

外形図 (単位：mm)

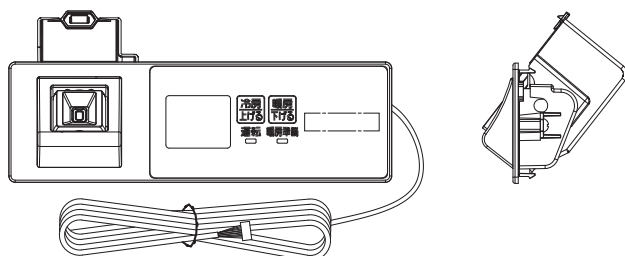
店舗・事務所用ワイヤレス受光部



現地で本体組み込みのムーブアイ部を取り外し、ワイヤレス受光部に付け換える



ワイヤレス受光部にムーブアイ部をセットした状態の図



天吊形ワイヤレスリモコン受光部 : PAR-SR2EA

(本マニュアル用に変更・修正しています)

取付説明書

BH79J331H01



三菱電機 パッケージエアコン 据付工事説明書

この説明書は三菱電機パッケージエアコン天吊形用ワイヤレス受光部、ムーブアップおよびムーブアップワイヤレス受光部キット、1方向カセット用ワイヤレス受光部の取付について記載しております。よくお読みのうえ、正しく取付けてください。

1 安全のために必ず守ること

据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、慎重に行ってください。
・ご自身または他者は、安全に作業する上での安全設備を十分に整備してください。
・取付に取扱いを怠ると、重大な人身の被害や火災の原因となる場合があります。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などにつながる可能性があります。

注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家財・建材などの損傷につながる可能性があります。

・お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取付説明書などと共に、お使いになる方にお渡しください。
・お使いになる方は、取扱説明書などと共に、いつでもお読みのうえ、正しく取付けてください。
・なる方が変わる場合は、新しくお渡しになる方にお渡しください。

警告 配線は絶対にしてはなりません。

改造は絶対にしてはなりません。
・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
・故障したり修理に不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしないでください。
・取付けに不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。

据付けは、質量に十分余裕を確保してください。
・強度が不足している場合は、本製品の落下などにより、事故の原因になります。

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
・お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

注意 可燃性ガスの発生・流入・漏洩のおそれがある場所へは据付けない。

可燃性ガスの発生・流入・漏洩のおそれがある場所へは据付けない。
・万一ガスがユニットの周囲にたまると、火災・爆発の原因になります。

特殊機器には使用しない。
・油（機油など）や油（機油など）の多い場所、使用しやすさや性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

エアコンを水濡れしない。
・感電・発火の原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しない。
・感電の原因になります。

ボタンの先のとがった物で押さない。
・感電・故障の原因になります。

電源配線は絶力が掛かっている状態で行わない。
・断線したり、発熱・火災等の原因になります。

2 部品確認

箱の中には、この据付工事説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

形名	部品名称	個数
PAR-SR2EA	ワイヤレス受光部	1
PAR-SR2EA	ワイヤーサドル	3
PAC-SJ55MK	ムーブアップキット	1
PAC-SJ56MW	ムーブアップワイヤレス受光部キット	1
	ワイヤーサドル	1

※ワイヤーサドルは天吊タイプには使用しません

お願い

- ワイヤレスリモコンの信号の届く範囲の目安は、直線方向で約7m、左右方向約45°程度です。また、蛍光灯(特にインバータタイプ)などの照明の影響を受けると、信号を受信できない場合がありますので蛍光灯の新設時・交換時は設置場所に注意してください。
- お客様自身で塗装はしないでください。塗装は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には取付けないでください。変形、故障の原因となります。

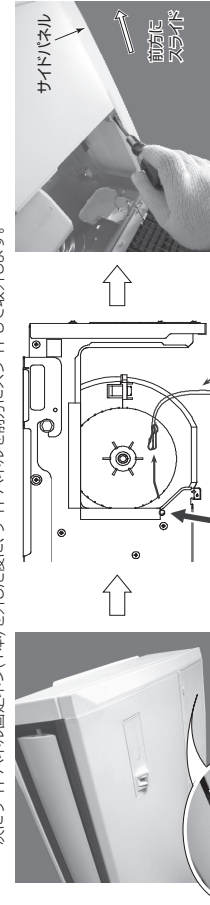
◆天吊形ユニットへの取付けの場合

3 取付方法

※取付前には必ず電源を切ってから作業してください。

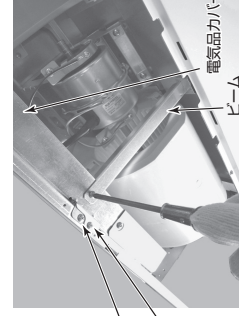
①吸込グリルおよび右サイドパネル取外し

- ・吸込グリル固定ツマミを後方にスライドし、吸込グリルを開きます。
- ・サイドパネル落下防止用ハンガーを取外します。
- ・次にサイドパネル固定ネジ(1本)を外した後に、サイドパネルを前方にフライトして取外します。



②ビームおよび電気品カバー取外し

- ・ビームを取外します。
- ・電気品カバー下面にあるネジを外し、電気品カバーを外します。
- ・電気品箱を引き下げます。



③ 制御基板のムーブアップリード線(輻射センサー(黒色チューブ)、ステッピングモーター(透明チューブ))接続コネクタ取外し

※ワイヤレス受光部(ムーブアップ)PAR-SR2EAの場合のみ
 ・制御基板のCN4Y(白)輻射センサー(黒色チューブ)リード線を外します。
 ・制御基板のCN6Y(赤)ステッピングモーター(透明チューブ)リード線を外します。
 ・電気品箱右上側面にあるフックとケーブルストラップ(2箇所)からコードを外します。

④ 既設のブランドラベルケース取外し

・ムーブアップリード線の輻射センサー、ステッピングモーターを保持用クリップから外し、アンダーパネルを取出します。
 ・ユニット下面右側に取付けてあるブランドラベルケース(社名表示入り名板)をムーブアップ部が付いた状態で外します。
 ※リード線に無理な力が加からないように注意してください。
 ケースのツメを矢印Aの方向に押すと、ケースは容易に外れます。

⑤ ムーブアップ部の付け換え

※ワイヤレス受光部(ムーブアップ)PAR-SR2EAの場合のみ
 ・ブランドラベルケースからムーブアップ部を取外します。(外した後、ブランドラベルケースは不要となります)
 ・ワイヤレス受光部にムーブアップ部を付け換えます。
 ・ムーブアップ受光部にムーブアップ部のリード線(黒色チューブ)をワイヤレス受光部のリブ内側に沿わせ、たるまないように配線します。
 ・ステッピングモーターリード線(透明チューブ)を輻射センサーのリード線(黒色チューブ)の上部に沿ってたるまないように配線します。

⑥ 室内ユニットへの取付け

ワイヤレス受光部にムーブアップ部をセットした状態

⑦ リード線の取り直し

・本別売部品のリード線がたるまないように保持用クリップに通します。
 ・ペンモーターリード線(ムーブアップ部)リード線)に合わせ、ワイヤレス受光部リード線を取り直し、天面のクランプとクリップで固定します。

⑧ 制御基板にワイヤレス受光部接続コネクタを接続

※ムーブアップキットPAC-SJ55MKの場合を除く
 ・電気品箱右上側面にあるフックにコードを通します。
 ・制御基板のCN4Y(白)輻射センサー(黒色チューブ)リード線を必ず接続します。
 ・制御基板のCN6Y(赤)ステッピングモーター(透明チューブ)リード線を必ず接続します。
 ※③接続コネクタ取外しの写真参考
 ※③接続コネクタ取外しの写真参考

⑨ 制御基板にムーブアップリード線(輻射センサー(黒色チューブ)、ステッピングモーター(透明チューブ))接続コネクタを接続

※ワイヤレス受光部 PAR-SR2EAの場合は除く
 ・電気品箱右上側面にあるフックにコードを通します。
 ・制御基板のCN4Y(白)輻射センサー(黒色チューブ)リード線を必ず接続します。
 ・制御基板のCN6Y(赤)ステッピングモーター(透明チューブ)リード線を必ず接続します。
 ※③接続コネクタ取外しの写真参考
 ※マルチ線種(シールドを含む)の場合は、ユニット本体制御基板のCN6Yコネクタにはカバーコネクタが挿入されています。カバーコネクタを取外し、接続してください。

⑩ 配線固定

・リード線接続後、電気品箱右上側面のケーブルストラップ(2箇所)にて各リード線をたるまないように束ねて固定します。
 ※③接続コネクタの取外しの写真参考

⑪ 取外した部品の取付け

・①②で取外した部品を逆の手順で取付けてください。(取外したブランドラベルケースは不要となります)

4 ペアナンバースイッチ設定方法

※自動資格キットの受光部としてのみ使用する場合、この設定は不要です。
 ワイヤレスリモコンで「操作」するユニット本体を指定するための設定をします。
 ユニット本体制御基板のJ41、J42(ジャンパー線)とワイヤレスリモコンのペアナンバースイッチを下記の通りに設定します。

■ ペアナンバースイッチの設定

- ペアナンバーは最大4バターンまでの設定が可能です。
- ユニット本体制御基板のペアナンバー(J41、J42の設定)と使用するワイヤレスリモコンのペアナンバースイッチを下表のように合わせます。
- ※ ワイヤレスリモコンの設定方法詳細は、ワイヤレスリモコンに付属の取付工事説明書を参照してください。

ペアナンバー設定バターン	リモコン操作部割	ペアナンバー設定	ユニット本体制御基板割
※ A	0	切断せず	ジャンパー線切断箇所
B	1	J41 切断	切断せず
C	2	J41、J42 切断	J41 切断
D	3~9のいずれか	J41、J42 切断	J41、J42 切断

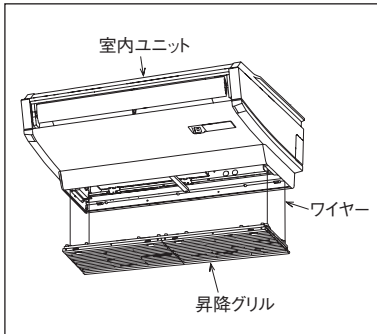
※ 出荷時の設定

※ 1 方向天井カセット形への取り付けについては、4-17頁を参照ください。

自動昇降キット

● PAC-SJ78JK ● PAC-SJ79JK
● PAC-SJ80JK

使用目的 / 用途



- 本品は、天吊形の自動昇降キットです。
- 本体ワイヤードリモコンまたは昇降パネルリモコンから、吸込グリルの自動昇降ができ、フィルター掃除が容易に行えます。吸込グリルの下降距離は、設置場所に合わせ8段階に設定することができます。(最大 4.0 mまで昇降)
- ワイヤードリモコンから昇降できますが、ワイヤレスをお求めの場合は、天吊形ワイヤレスリモコン受光部と昇降パネルリモコンを手配願います。

注意

- ・高性能フィルターとの併用はできません。
- ・冷媒配管の右側取り出しはできません。
- ・ドレン配管の右側、及び左側の取り出しはできません。
- ・ワイヤードリモコンで昇降操作を行う場合、昇降するパネルが人や物に接触しないように注意してください。
- ・据え付け場所において、油の飛沫の多いところは避けてください。

対象ユニット

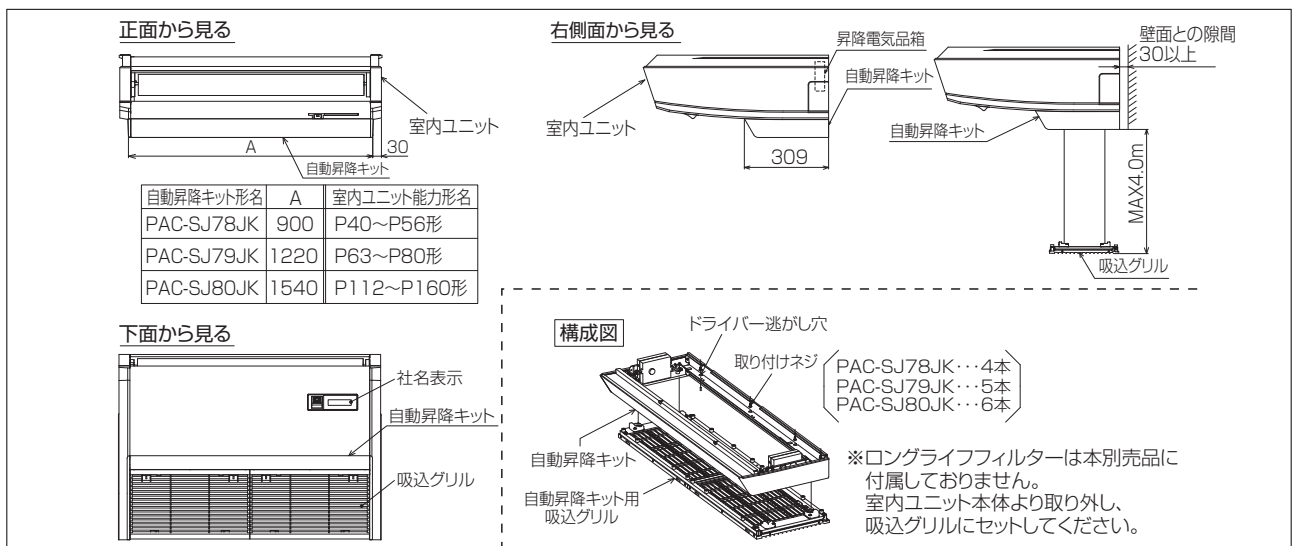
- PAC-SJ78JK : PC-RP40 ~ 56KA(L)17
- PAC-SJ79JK : PC-RP63 ~ 80KA(L)17
- PAC-SJ80JK : PC-RP112 ~ 160KA(L)17

仕様

形名	PAC-SJ78JK	PAC-SJ79JK	PAC-SJ80JK
色		ピュアホワイト	
外装	マンセルNo.	6.4Y8.9/0.4	
	材質	ABS樹脂、溶融亜鉛メッキ鋼板	
駆動方式 DC モータ	2 モータ方式		
昇降操作方式	本体ワイヤードリモコンまたは昇降パネルリモコン (別売)		
昇降対象物	吸込グリル+ロングライフフィルター*		
昇降速度(上昇/下降)	上昇 1.9m/min、下降 2.1m/min		
昇降寸法	1.2m/1.6m/2.0m/2.4m/2.8m/3.2m/3.6m/4.0m		
外形寸法	309 × 900 × 65mm	309 × 1220 × 65mm	309 × 1540 × 65mm
昇降用ワイヤ材質	ポリエステル系 φ0.6mm		
質量	5.2kg	6.3kg	7.4kg
消費電力	18W		
電源仕様	AC200V (50/60Hz)		
付属品	ケースメント、昇降グリル、昇降電気品箱、ネジ、タイラップ、フック、キャッチ ※ロングライフフィルタは本別売品に付属しておりません。室内ユニット本体より取り外し、吸込グリルにセットしてください。		

※据付け場所において、油の飛沫の多いところは避けてください。

取付図 (単位: mm)





三菱電機パケットエージェンシー別売部品 自動昇降キット据付工事説明書

PAC-SJ78JK (天吊クタイプP40～P56形)
PAC-SJ79JK (天吊クタイプP63～P80形)
PAC-SJ80JK (天吊クタイプP112～P160形、P3～P5MKA形)

安全のために必ず守ること
●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」もよくお読みの上、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などおこるおそれのあるもの。

●据付工事完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取説に「安全のために必ず守ること」や取付方法、お守り入れの仕方等を説明してください。
また、この据付工事説明書とともにお客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家財・家財などの損傷を招くおそれのあるもの。

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」もよくお読みの上、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。

警告

据付けや移動の場合は、冷凍サイクル内に指定冷凍剤以外のものを投入させない。
●空気が入ると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。

修理は、絶対に行わないでください。
●改修は、お買い上げの販売店にご相談ください。
改修した修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をおこなうと、水漏れや感電、火災等の原因になります。

台風などの強風、地震に備え所定の据付工事を行う。
●据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。

据付けは、質量に余裕に耐えるところに確実に行う。
●据付けが不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

密閉された部屋に据付けする場合は、必ず換気を行う。
●密閉された部屋に据付けする場合は、必ず換気を行う。
●換気不足による体調不良については、販売店にご相談ください。
万一、水漏れが原因で境界湿度を超えるなど欠陥事故の原因になります。

作業中に冷媒が漏れた場合は、換気する。
●冷媒が室内に漏れた場合、有害ガスが発生する原因になります。

注意

特殊用途には使用しない。
●油（潤滑油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの臭い場所、海浜地区など、換気の多い場所、積雪によりユニットが堆積するおそれがある場所、湿気や性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

可燃性ガスの発生、流入・滞留、漏れのおそれがある場所へは据付けしない。
●万一ガスがユニットの周囲にたると、発火・爆発の原因になります。

病院、通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを十分に確保する。
●ノイズ対策機器、自動送電機、無線送電機、無線送電機の影響によるエアコンの動作や故障の原因になります。また、騒音時に室外ユニットから騒音が漏れるおそれがありますので、必要に応じて室外ユニットの集音対策を講ずる必要があります。

取付説明書

自動昇降キット : PAC-SJ78JK, SJ79JK, SJ80JK

(本マニュアル用に変更・修正しています)

据付け（移設）工事をする前に

注意

- 据付台等が腐んだ状態を放置しない。
- 人だかり等で設置するユニットの落下につながり、ケガ等の原因になります。
- 梱包材には「クサビ」等の硬いものは、木材等を使用していますので設置時に「クサビ」等の硬いものかガがするおそれがあります。
- 冷媒配管の断絶は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、腐れなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

- エアコンを水浸ししない。
- 部材の選定は充分注意して行う。
- 20kg以上の重量は原則として2人以上以上で行ってください。PPバンドなど新着の部品以外をもって製品を動かさないでください。素手で部品表面やフィンを触ると傷つく場合がありますので保護具をご使用ください。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないように断熱処理すること。
- 据付工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他部材等を濡らす原因になります。

電気工事をする前に

注意

- 設置場所（水気のある場所等）によっては漏電遮断器を取付けます。
- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。
- 電源配線は、電流容量に合った線径の電線を使用すること。
- 雷電や落雷、火災等の原因になります。
- 電源配線は、断力が掛かるように配線工事をする。
- 漏れしたり、発熱・火災等の原因になります。

- エアコン工事を行う。
- エアコンは、ガス管・水道管・配管計・電話のアクセス線に接触しないようにしてください。アクセスが不完全な場合は、感電の原因になります。
- 正しい容量のブレーカー（漏電遮断器・手元開閉器 開閉器10A 種ヒューズ）・配線用遮断器を使用する。
- 大きな容量のブレーカーを使用すると故障や火災の原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。
- 感電、故障や動作不良の原因になります。

試験運転をする前に

注意

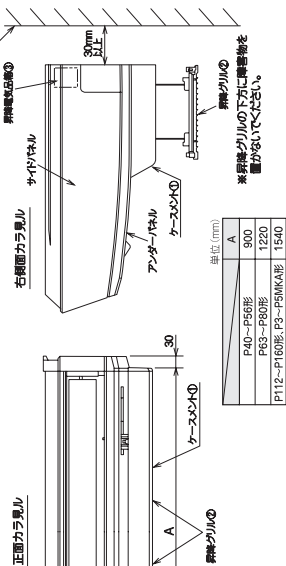
- ハネルやファンを外した状態で運転をしない。
- 機体の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- エアフィルタを外したまま運転をしない。
- 内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。
- 運転を開始する12時間以上前に電源を入れる。
- 電源を入れてすぐ運転開始すると、初期の原因になります。シーズン中は電源を切らないでください。

- 濡れた手でスイッチを操作しない。
- 窓電の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- 運転中の冷媒配管に素手で触れない。
- 運転中の冷媒配管は冷たい状態のままで低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。
- 必ず5分以上待ってください。
- 水漏れや故障の原因になります。

1. 付属部品の確認 (下記部品が付属されており、取付前に確認ください。)

品名	① ケースメント	② 昇降グリル	③ 昇降電気品箱	④ ネジ	⑤ タイラップ	⑥ フック	⑦ キャッチ
個数	1	1	1	10	4	2	2
形状							
注				※ 取付用ネジは、本製品に付属のネジ(SJ78JK・SJ79JK)または、別売のネジ(SJ80JK)を使用してください。			

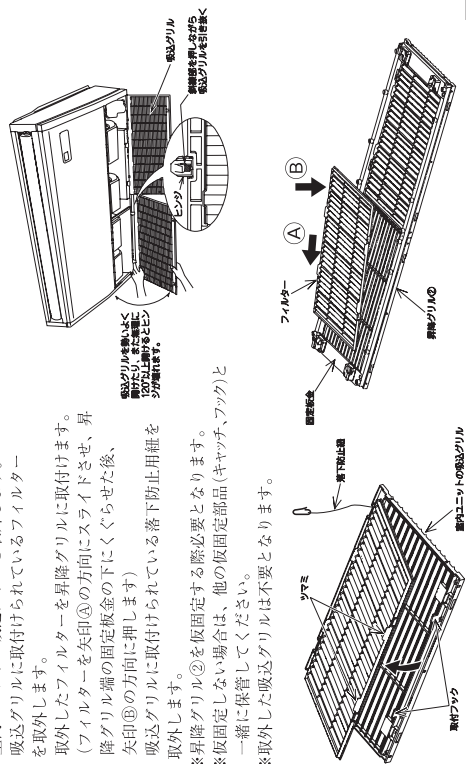
2. 自動昇降キット取付け状態図



3. 取付け前の準備

- 自動昇降キット取付により、ドレン配管・冷媒配管の取出方向に制約があります。冷媒配管：後取出または上取出となります。(右横取出は出来ません。) ドレン配管：後取出または上取出(別売ドレンアップメカ取付時)となります。(左横取出・右横取出は出来ません。)

- 1) 室内ユニットの吸込グリルを取外します。
 - 2) 吸込グリルに取付けられているフィルターを取外します。
 - 3) 取外したフィルターを昇降グリルに取付けます。(フィルターを矢印⑤の方向にスライドさせ、昇降グリル側の固定板の下にくぐらせた後、矢印⑥の方向に押し込みます)
 - 4) 吸込グリルに取付けられている落下防止用紐を取外します。
- ※ 昇降グリル②を仮固定する際必要となります。
※ 仮固定しない場合は、他の仮固定部品(キャッチ、フック)と一緒に保管してください。
※ 取外した吸込グリルは不要となります。



4.

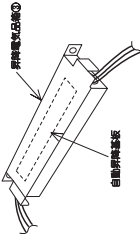
自動昇降キットの取付け要領

昇降グリル下降距離の設定

- 昇降グリルの下降距離を、ユニットの設置高さに応じる段階に設定することができます。距離は目安です。実際には、自動昇降キット下面から1.6mで自動停止します。

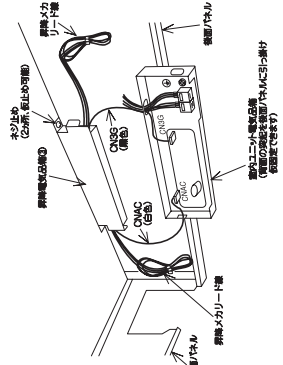
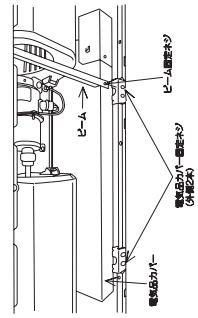
- 1) 昇降電気品箱③のカバーを外します。
- 2) 下降距離に合わせて自動昇降基板のディズインスイッチSW22を設定します。
- 3) カバーをもとどおりに取付けます。

下降距離	1.2m	SW22 (實際距離設定)	1.6m (工場出荷仕様)
段階別設定	~2.7m	長尺階段別段	2.7m~3.1m
設定	ON OFF 12345678910	設定	ON OFF 12345678910
下降距離	2.0m	下降距離	2.4m
段階別設定	3.1m~3.5m	段階別設定	3.5m~3.9m
設定	ON OFF 12345678910	設定	ON OFF 12345678910
下降距離	2.8m	下降距離	3.2m
段階別設定	3.9m~4.3m	段階別設定	4.3m~4.7m
設定	ON OFF 12345678910	設定	ON OFF 12345678910
下降距離	3.6m	下降距離	4.0m
段階別設定	4.7m~5.1m	段階別設定	5.1m~5.5m
設定	ON OFF 12345678910	設定	ON OFF 12345678910



昇降電気品箱の取付け

- 1) 室内ユニットのビーム、電気品カバーを取外し、電気品箱を引き下げます。
 - 2) 室内ユニット天面に仮止め用ネジ (2本) を取付け、昇降電気品箱③を引っ掛け、ネジを締め固定します。
 - 3) 昇降電気品箱③から出ているリード線(CNAC (白色) とCN3G (黒色)) をそれぞれ下図のように室内電気品箱に通し、制御基板のCNAC (白色)、CN3G (黒色) に確実に接続します。
 - 4) 室内電気品箱を押し上げ、元の位置にネジ固定します。
- その際、昇降電気品箱③と室内ユニット電気品箱間で昇降用リード線にたるみがないように、余った部分を電気品箱内に収納してください。
- 5) 電気品カバー、ビームを取付けます。



4. 自動昇降キットの取付け要領 のつづき

ケースメントの取付け 注意：ワイヤーが絡まるので、ジョイントホルダーは昇降グリルを取付けるまでケースメント①から外さないでください。

- 1) 仮止めの準備
 - 室内ユニット吸込口側のアンダーパネル固定ネジを2~5mm 緩めます。
 - 室内ユニット後面に仮止め用ネジ①を2~5mm緩めた状態で取付けます。
 - ※ 仮止め用ネジを取付ける位置は機種により異なります。
 - ケースメント側の穴が切欠きになっている位置に合わせて取付けてください。
- 2) ケースメントの仮止め
 - ケースメント①をアンダーパネル固定ネジ、仮止め用ネジ①に引っ掛けます。
 - ※ この時リード線、ワイヤーがユニット本体とケースメント①の間にはさまないように注意してください。
- 3) 固定
 - ネジの位置を合わせ、ネジを全て締めつけます。

昇降メカの配線

- 1) ケースメント①左右から出ている昇降メカのリード線コネクタ(片側3ヶ所)、昇降電気品箱③の左右から出ているリード線のコネクタ(片側3ヶ所)を確実に接続します。
- 2) 昇降電気品箱側の保護チューブのタイラップを切断し、コネクタ接続部が露出しないように保護チューブをずらしかぶせ、タイラップ⑤でチューブ開口部をふさぎます。
- 3) リード線がたるまないように、ケースメント①のクランプにてまとめます。

4. 自動昇降キットの取付け要領 のつづき

昇降グリルの取付け

- 1) ジョイントをジョイントホルダーから外してください。
※ ジョイントホルダーは昇降グリル②を仮固定する際必要となりますので、据付工事説明書と一緒に保管してください。
- 2) 昇降グリル②のコーナー部のワイヤー取付穴にワイヤー先端のジョイントを通し、押し付けながらスライドさせ固定します。ジョイントが確実にロックし、穴から抜けないことを必ず4ヶ所共確認してください。

拡大図

※ 昇降グリルの向きが下図のようになると、ジョイントが抜けやすくなるので、必ず矢印の方向に押し付けてください。

5. 昇降グリルの取納確認

室内ユニット、室外ユニットの配線工事後確認してください。

ワイヤードリモコンからの操作

- 1) エアコンの運転を必ず「停止」にしてください。
- 2) リモコンの(フィルター)と(換気)ボタンを同時に2秒以上押し続けてください。昇降操作モードに入ります。
- 3) 設定温度(Δ)を押すと、しばらくしてから昇降グリルが上昇し、収納されます。
- 4) (運転停止)ボタンを押す、または(フィルター)と(換気)ボタンを同時に2秒以上押し続けて昇降操作モードを解除します。

ワイヤレス受光部(別売)を取付けた場合

昇降パネルリモコン、またはワイヤレス受光部の(上げる)ボタンを押すと、昇降グリルが上昇し、収納されます。

7. 確認

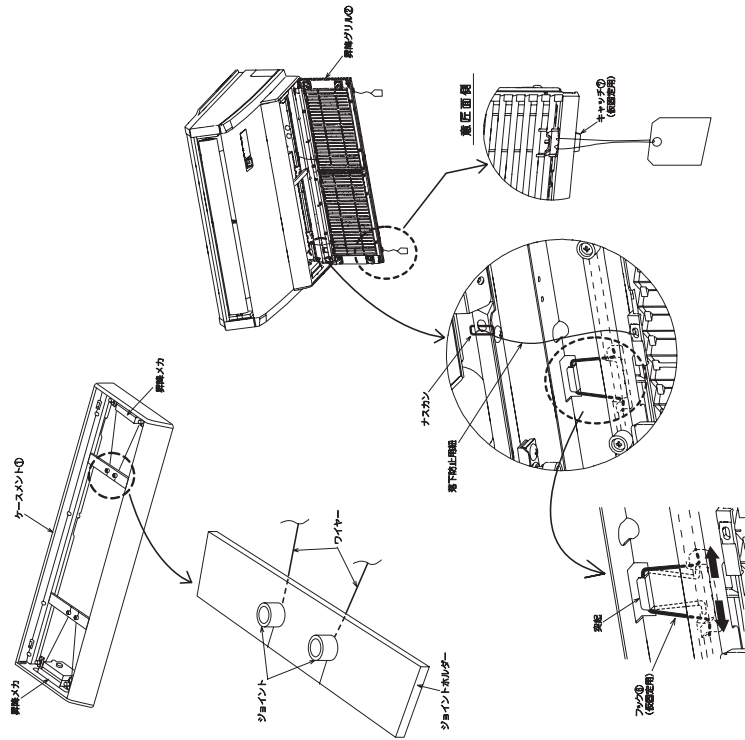
- 配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されていないとグリルが昇降しない原因となります。
- 昇降グリルの下降距離がお客様の要望に合っていること、また昇降動作がスムーズであることを確認します。
- 下降距離を変更した際は、必ず動作を確認してください。

上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体および別売部品の説明書、取付部品等の一式全てをお客様へ渡してください。その際、自動昇降キットの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明と昇降グリルの昇降方法（リモコン操作）の説明を必ずお客様へしてください。

6. 応急時の昇降グリルの仮固定

電源投入前、および故障により昇降グリルが動作しなくなった場合に、仮固定ができます。（サービス時の場合も同様）

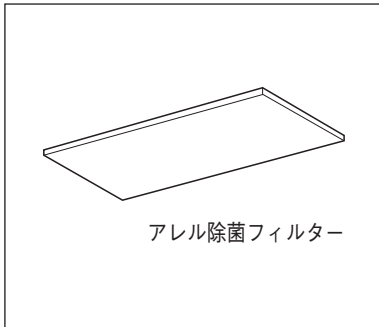
- 1) ワイヤ4本をそのままよいジョイントホルダーに固定してください。
※サービス中は仮固定した状態でユニットを運転する場合がありますので、ワイヤーにゆるみがないように固定してください。
 - 2) 昇降グリルの穴に室内ユニットの吸込グリルの吸込グリルから取外した落下防止用紐を通し、取付けます。（左右2ヶ所）
 - 3) 昇降グリル②に、キャッチ⑦とフック⑥を取付けます。（最も外側2ヶ所）
※キャッチに付いている札は外さず、そのまま取付けてください。
 - 4) 仮固定用フック⑥をケースメント①の突起に引掛けます。
 - 5) 落下防止用紐のナスカンを室内機の穴に引掛けます。
 - 6) グリルを閉じ、キャッチ⑦をスライドさせグリルを固定します。
- ※その際ワイヤー、落下防止用紐をはさまないようにしてください。
7) 電源投入後またはサービス完了後はフック⑥、キャッチ⑦、落下防止用紐を外し据付工事説明書と一緒に保管してください。（再利用します）



アレル除菌フィルター

- PAC-SK48KF
- PAC-SK49KF
- PAC-SK50KF

使用目的 / 用途



● “アレル除菌フィルター” は、人工酵素が含まれたフィルターで、菌^{*1}やウイルス^{*2}、アレル物質（花粉）^{*3}を捕集し、抑制します。

- ※1: 試験機関: 財団法人日本紡績検査協会。試験方法: JIS L 1902, 定量試験 (菌液吸取法)。試験番号: 006109-1,2。対象: フィルターに付着した2種類の菌。試験結果: 無加工布と比較し18時間後に99%以上低減。
- ※2: 試験機関: 一般財団法人日本繊維製品品質技術センター。試験方法: JIS L 1922, 繊維製品の抗ウイルス性試験方法。試験番号: 19KB060923-1。対象: フィルターに付着した1種類のウイルス。試験結果: 無加工布と比較し24時間後に99%以上低減。
- ※3: 試験機関: 財団法人日本食品分析センター。試験方法: ELISA法。試験番号: 第10014572002-01号。対象: フィルターに付着した1種類の花粉。試験結果: 99%以上低減。

注 意

- ・高性能フィルターとの併用はできません。
- ・本品を使用する場合、風量アップのオプション設定が必要です。
- ・洗浄目安は6ヵ月、交換目安は1年です (10時間/日、2500時間/年と仮定した場合)。使用条件により異なります。

対象ユニット

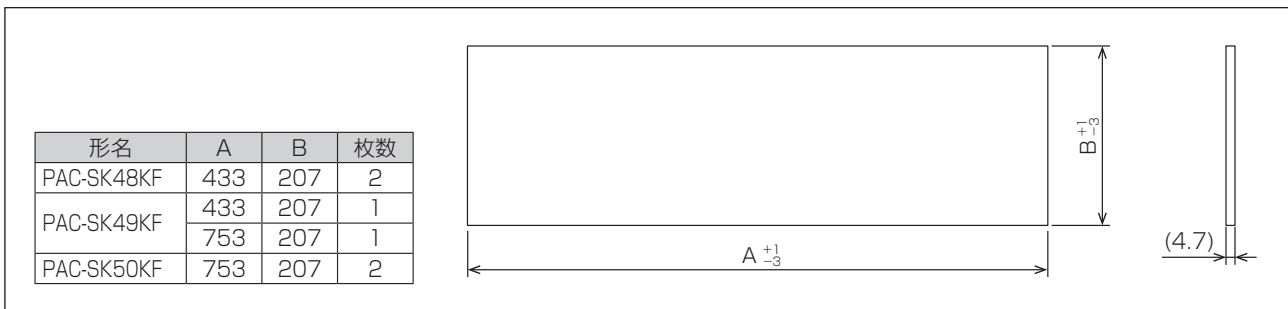
- PAC-SK48KF : PC-RP40 ~ 56KA17
- PAC-SK49KF : PC-RP63 ~ 80KA17
- PAC-SK50KF : PC-RP112 ~ 160KA17

仕 様

形 名	PAC-SK48KF	PAC-SK49KF	PAC-SK50KF	色 調	水色
使用枚数	小2枚	小1枚,大1枚	大2枚	交換目安	1年*
集塵効率	重量法 50%			洗浄目安	6ヵ月* (洗浄可能)
フィルター材質	ポリエステル、レーヨン、アクリル樹脂				

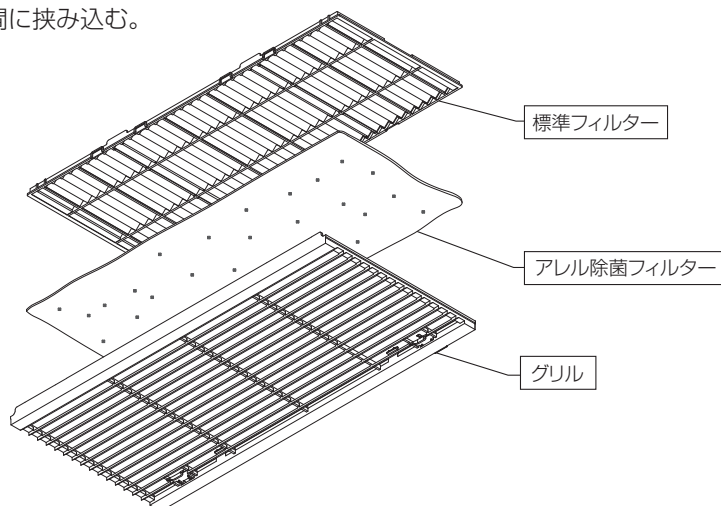
※ 10時間/日、2500時間/年と仮定の場合。据付環境、使用状況により異なります。

外形図 (単位: mm)



取付要領

標準フィルターとグリルの間に挟み込む。

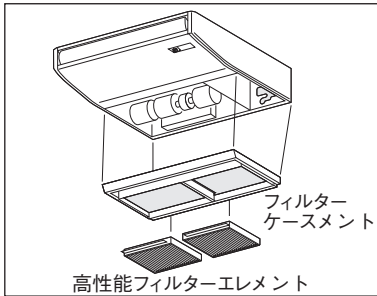


※ 据付説明書については、1-53頁を参照してください。

フィルターケースメント

- PAC-SH77AF
- PAC-SH78AF
- PAC-SH79AF

使用目的 / 用途



- “フィルターケースメント” は、天吊形に高性能フィルターエレメントを取り付けるための枠型の部品です。
- 本部品は室内ユニット据え付け（配管、配線工事含む）後に取り付けてください。

注意

- ・ 標準フィルターは不要となりますので、取りはずしてください。

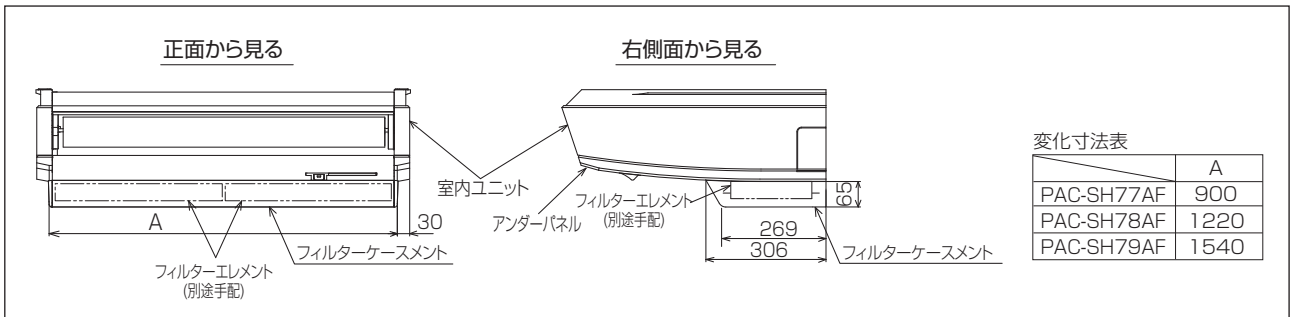
対象ユニット

- PAC-SH77AF :
PC-RP40 ~ 56KA(L)17
- PAC-SH78AF :
PC-RP63 ~ 80KA(L)17
- PAC-SH79AF :
PC-RP112 ~ 160KA(L)17

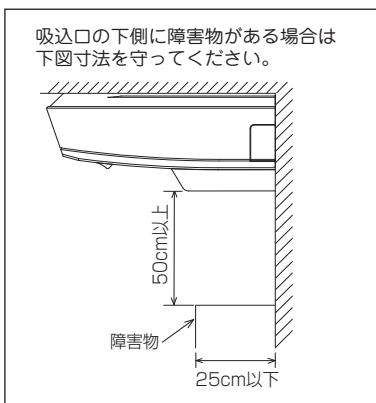
仕様

形名		PAC-SH77AF	PAC-SH78AF	PAC-SH79AF
外装	色	ピュアホワイト		
	マンセルNo	6.4Y8.9/0.4		
材質	外装枠	ABS樹脂		
	内部フレーム	亜鉛メッキ鋼板		
付属品		取付用ネジ (ST4 × 10) 10本		
適用別売フィルターエレメント		PAC-SH80KF	PAC-SH81KF	PAC-SH82KF

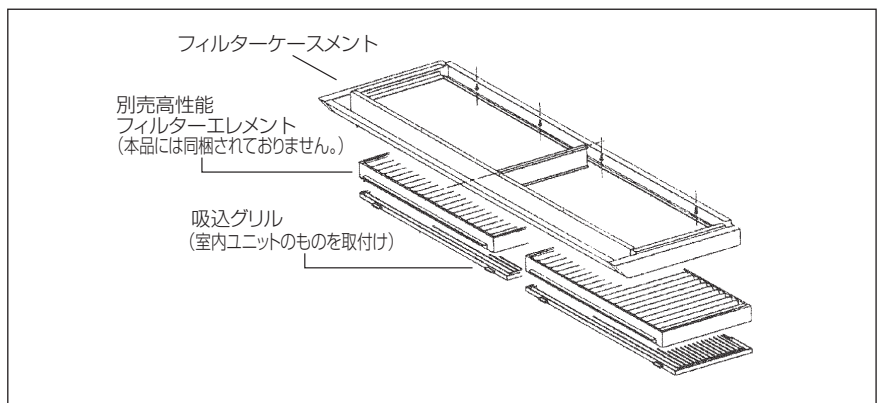
外形図 (単位: mm)



サービススペース



展開図





三菱電機パッケージエアコン別売部品
フィルターケースメント取付工事説明書

*取付け前に本説明書と室内ユニットの取付工事説明書をよくお読みください。

形名 PAC-SH77AF (天吊Kタイプ P40~P56形)
PAC-SH78AF (天吊Kタイプ P63~P80形)
PAC-SH79AF (天吊Kタイプ P112~P160形, P3~P5MKA形)

安全のために必ず守ること

- ・取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、正確に行ってください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- ・取付工事後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明し、本書をお渡ください。
- ・この取付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくよう依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。



警告

- ・取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- ・取付工事は、この取付工事説明書に従って確実に行う。
- お客様自身で取付工事をされればならない。水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 取付工事に不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

・取付け(移設)電気工事をする前に

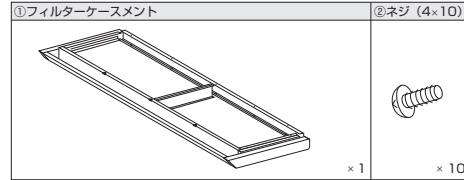


注意

- ・ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をかき窒息する原因になります。

1. 付属部品のご確認

*下記部品が付属されておりますので、取付け前に確認ください。



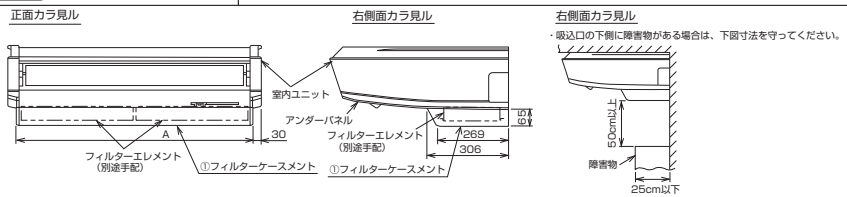
*フィルターエレメントは、下記形名のを別途手配ください。

フィルターケースメント形名	フィルターエレメント(別途手配)	高性能フィルターエレメント形名
P40~P56形	PAC-SH77AF	PAC-SH80KF
P63~P80形	PAC-SH78AF	PAC-SH81KF
P112~P160形, P3~P5MKA形	PAC-SH79AF	PAC-SH82KF

*フィルターエレメントは使い捨てです。

2. フィルターケースメント取付け状態図 単位 (mm)

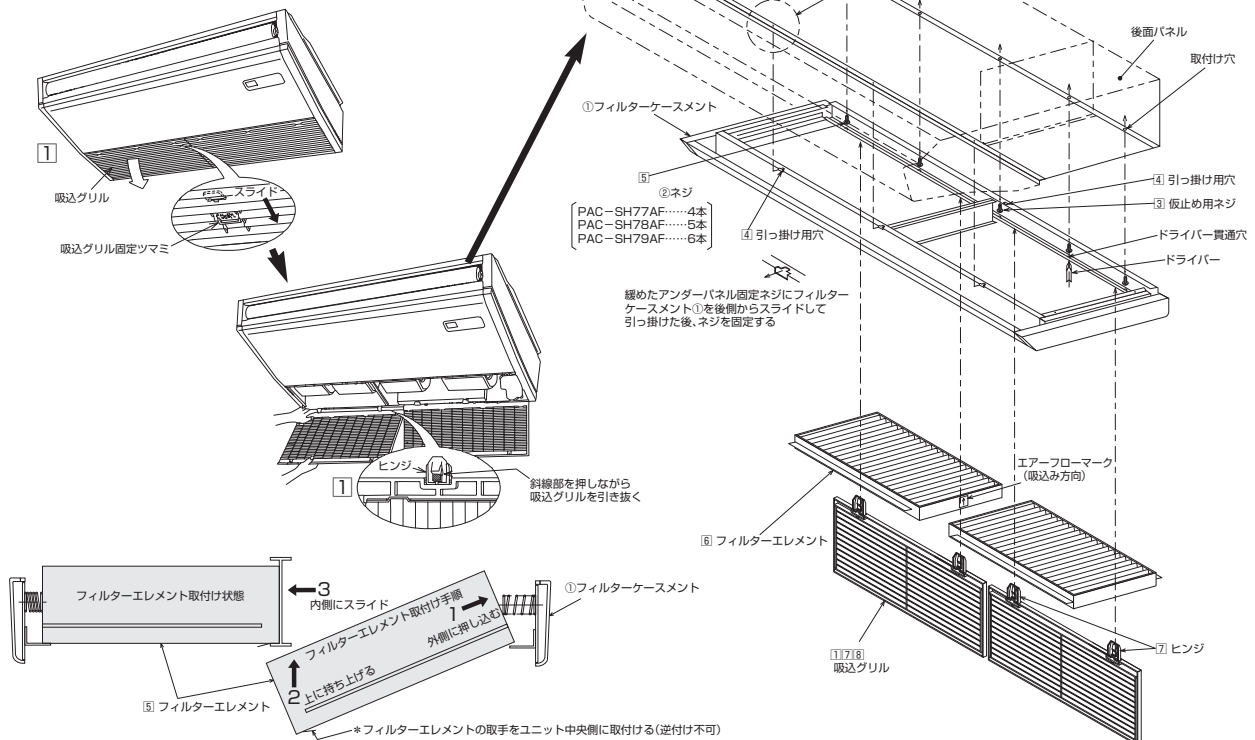
	A
P40~P56形	900
P63~P80形	1220
P112~P160形, P3~P5MKA形	1540



3. フィルターケースメント取付け要領

★室内ユニットを取付けた後(配管・配線工事含む)にフィルターケースメントを取付けてください。

- 1 室内ユニットの吸込グリルを取外す
- 2 室内ユニット吸込口側のアンダーパネル固定ネジを2~5mm緩める
- 3 室内ユニット後面パネルに仮止め用のネジを2~5mmあけた状態で取付ける(1ヶ所)
- 4 フィルターケースメント①を上記アンダーパネル固定ネジおよび仮止め用のネジに引っ掛けてネジ締め固定する
- 5 フィルターケースメント①を付属のネジ②で室内ユニット後面パネルに固定する
*ネジ②は予備備えた数を付属しています
- 6 フィルターエレメント(別途手配)を取付ける
- 7 フィルターケースメント①の角穴に吸込みグリルのヒンジを挿入して取付ける
- 8 吸込グリルを閉じる



4. 室内ユニット機能選択

*高性能フィルターエレメントを取付けの場合、室内ユニットの風量をUPさせるためにリモコンで機能選択を必ず行ってください。

機能選択は、リモコンに付属の説明書に従って下記設定に変更してください。

モード番号	設定番号
10 (オプション組込み)	2 (有り)

*設定変更をしないと、規定風量が出ないため能力不足や結露等の原因になります。

5. 試運転

*室内ユニットの取付工事説明書も併せて参照してください。

★試運転により、振動やビビリ音等の異常音がないことを確認してください。

【試運転方法】

- (1) 電源を入れる
- (2) リモコンの 試運転 ボタンを2度押す
- (3) リモコンの 運転切替 ボタンを押して送風にする
*ファンが回転して送風を行います
- (4) 正常に運転するか確認する
- (5) リモコンの 運転・停止 ボタンを押して試運転を解除する
- (6) 電源を切る

6. フィルターエレメントについて

*フィルターエレメントは使い捨てです。取付け環境により若干異なりますが、1年に1回の目安で交換くださるよう、お客様に説明してください。

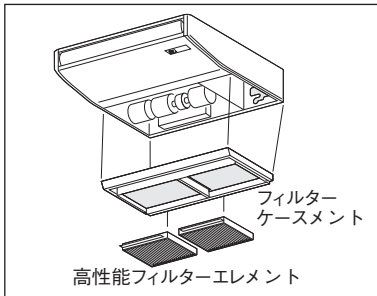
フィルターケースメント形名	フィルターエレメント(別途手配)	高性能フィルターエレメント形名
P40~P56形	PAC-SH77AF	PAC-SH80KF
P63~P80形	PAC-SH78AF	PAC-SH81KF
P112~P160形, P3~P5MKA形	PAC-SH79AF	PAC-SH82KF

フィルターエレメントは、2ヶ(1台分)入りです。

高性能フィルターエレメント

- PAC-SH80KF
- PAC-SH81KF
- PAC-SH82KF

使用目的 / 用途



- “高性能フィルターエレメント” は、空気中の埃やゴミを除去する部品です。(集塵効率：比色法 65%)
- チョークの粉やハウスダスト、アレルギーの原因となる花粉まで除去できますので、学校空調に適しています。
- 本品を組み込む際には、フィルターケースメントを手配願います。

注意

- ・ 本品は洗浄再生できません。1年に1回の目安で交換してください。
- ・ 本品を取り付けた場合、リモコンで風量アップの設定をしてください。

対象ユニット

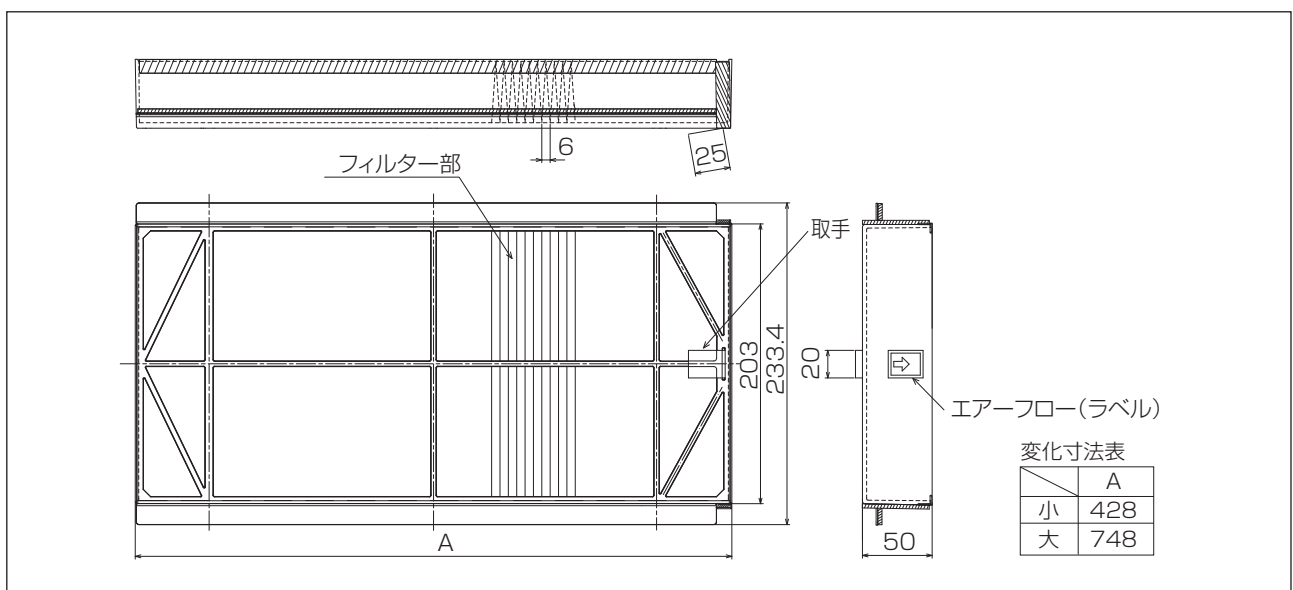
- PAC-SH80KF : PC-RP40 ~ 56KA(L)17
- PAC-SH81KF : PC-RP63 ~ 80KA(L)17
- PAC-SH82KF : PC-RP112 ~ 160KA(L)17

仕様

形名	PAC-SH80KF	PAC-SH81KF	PAC-SH82KF
集塵効率	比色法 65%		
フィルター材質	ポリオレフィン系帯電繊維不織布		
耐用時間	約 2500 時間 (使用条件：塵埃濃度 0.15mg / m ³)		
同梱フィルター個数	小 2 枚	小 1 枚、大 1 枚	大 2 枚
取付方法	別売フィルターケースメントに装着 (標準フィルターとの併用はできません)		
適用別売フィルターケースメント	PAC-SH77AF	PAC-SH78AF	PAC-SH79AF

※フィルターエレメントは洗浄再生できません。

外形図 (単位：mm)



RG79V893H02

三菱電機 パッケージエアコン別売部品
高性能フィルターエレメント据付工事説明書

形名 PAC-SH80KF(天吊Kタイプ P40~P56形)
PAC-SH81KF(天吊Kタイプ P63~P80形)
PAC-SH82KF(天吊Kタイプ P112~P160形, P3~P5MKA形)

安全のために必ず守ること

- ・据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、
死にや重傷などに結びつく
可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、
軽傷または家屋・家財などの
損害に結びつくもの。

- ・据付工事完了後、試運転を行う異常がないことを確認するとともに、お客様に安全のために必ず守ること、や使用方法、お手入れの仕方等を説明し、本書をお渡しください。
- ・この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくようお願いしていただきます。

また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくようお願いしていただきます。



警告

据付けは、販売店または
専門業者へ依頼する。
お客様自身で据付けをされ不備が
あると、水漏れや感電・火災等の
原因になります。



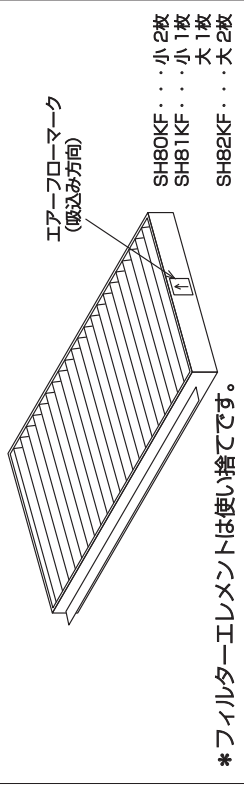
注意

据付けは、この据付工事説明書
に従って確実に行う。
据付けに不備があると、水漏れや
感電・火災等の原因になります。

1. 付属部品のご確認

※下記部品が付属されており、取付け前にご確認ください。

①フィルターエレメント

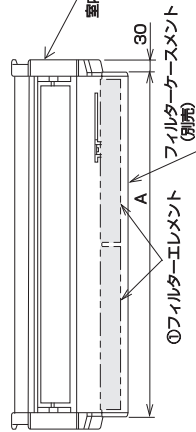


*フィルターエレメントは使い捨てです。

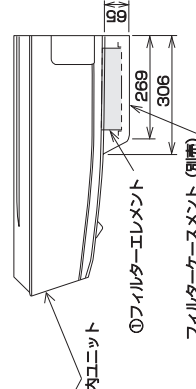
2. フィルターエレメント取付け状態図 単位 (mm)

	A
P40~P56形	900
P63~P80形	1220
P112~P160形, P3~P5MKA形	1540

正面カラ見



右側面カラ見



3. フィルターエレメント取付け要領

★右図に従いフィルターエレメント①を
取付けてください。

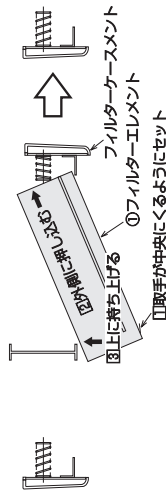
本図は右側の取付方法について説明
しています。
左側についても同様にして取付けて
ください。

*吸込グリルをフィルターケースメント
から取外すと作業が容易になります。

手順1 ①フィルターエレメントのエアフローマーク
(吸込み方向)に注意し、取手がユニット中央側に
くるようにセットする(逆付け不可)

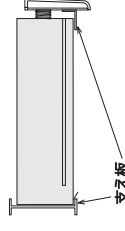
②フィルターエレメントを外側に押し込む
③中央側を上を持ち上げる

正面カラ見



手順2 ④フィルターエレメントを内側にスライドさせる

手順3 ⑤フィルターエレメントが支え板にきちんと
はまっていることを確認する



4. 室内ユニット機能選択

* フィルターエレメント交換時には、機能選択は不要です。

* 新規に高性能フィルターエレメントを取付けの場合、室内ユニットの風量をUPさせるためにリモコンで機能選択をしてください。

機能選択は、リモコンに付属の説明書に従って下記設定に変更してください。

モード番号	設定番号
10 (オプション組込み)	2 (有り)

★設定変更をしないと、規定風量が出ないため
能力不足や結露等の原因になります。

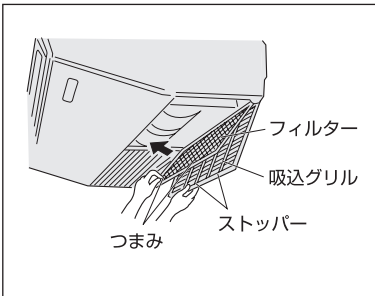
フィルターエレメントについて

* フィルターエレメントは使い捨てです。
据付け環境により若干異なりますが、1年に1回の目安で
交換くださるよう、お客様に説明しててください。

オイルガードフィルター

- PAC-SH88KF
- PAC-SH89KF
- PAC-SH90KF

使用目的 / 用途



●“オイルガードフィルター”は、室内空気の油成分を除去するフィルターです。

注意

- ・標準フィルターと本品を交換してください。
- ・その際、標準フィルターは使用しませんので、不要となります。
- ・食用油を用いる厨房、加工用油を用いる工場等油煙環境での使用はできません。

対象ユニット

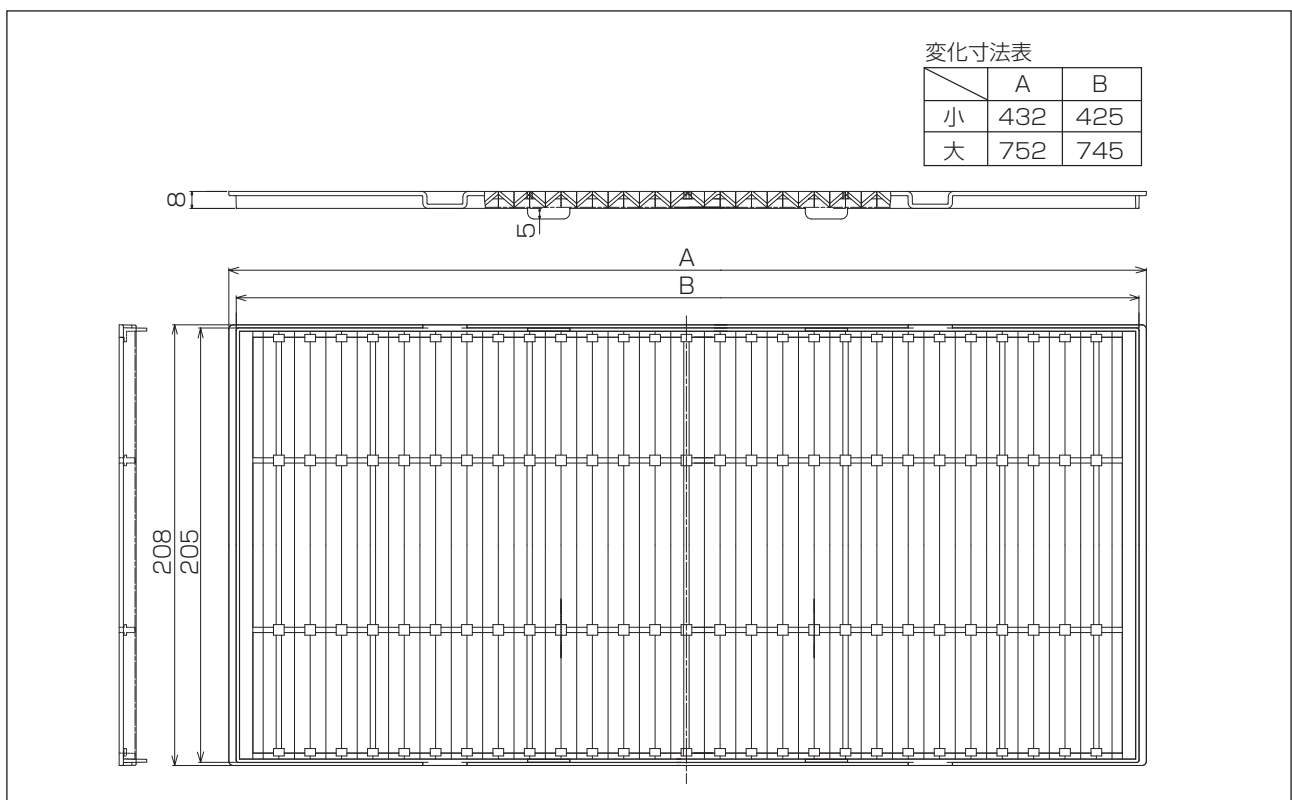
- PAC-SH88KF : PC-RP40 ~ 56KA(L)17
- PAC-SH89KF : PC-RP63 ~ 80KA(L)17
- PAC-SH90KF : PC-RP112 ~ 160KA(L)17

仕様

形名	PAC-SH88KF	PAC-SH89KF	PAC-SH90KF
使用枚数	小2枚	小1枚、大1枚	大2枚
集塵効率		重量法 70%	
フィルター材質		PPハニカム	
色調		黒 (フィルター枠)	
再生		洗浄可能	

※食用油を用いる厨房、加工用油を用いる工場等油煙環境での使用はできません。

外形図 (単位: mm)





三菱電機パッケージエアコン別売部品
オイルガードフィルター 据付工事説明書

PAC-SH88KF(天吊Kタイプ P40~P56形)
PAC-SH89KF(天吊Kタイプ P63~P80形)
PAC-SH90KF(天吊Kタイプ P112~P160形, P3~P5MKA形)

※据付前に本説明書をよくお読みください。

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。



警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

据付け(移設)・電機工事をする前に



注意

冷媒配管の断熱は結露しないように確実にを行う。

- 不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になります。

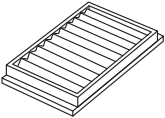
フィルターの取付けは空調機の運転を止めて行う。

- 内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように断熱処理すること。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

1. 部品の確認 (この箱の中には本説明書と下記部品が入っています)

品名	オイルガードフィルター	
個 数	SH88KF・小2枚	形 状 
	SH89KF・小1枚	
	大1枚	
	SH90KF・大2枚	

お願い

取付けの際、オイルガードフィルターの中央を強く押さないでください。オイルガードフィルターが破損するおそれがあります。(必ず、オイルガードフィルターの枠部分を持って取付けてください)

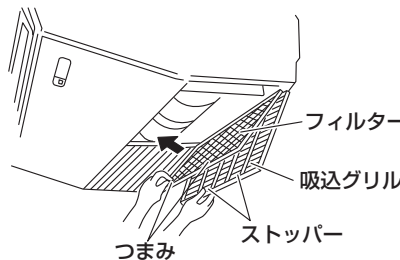
2. フィルターの取付け



注意

フィルターの取付けは空調機の運転を止めて行う。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

- (1)室内ユニットの吸込グリルを開けてください。(詳しくは、室内ユニットの取扱説明書をご覧ください)
- (2)標準フィルターを取外し、オイルガードフィルターを吸込グリルに取付けます。
 - オイルガードフィルターの取付方法は標準フィルターと同じです。
 - 取外した標準フィルターは使用しません。



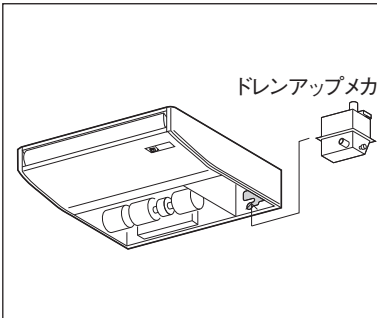
- ・フィルターをつまみを指でつまんで矢印方向に引き上げて外してください。
- ・フィルターを取付ける時は、グリルのストッパーにフィルターを確実に押し込んでください。

標準フィルターと本品を交換してください。標準フィルターは使用しませんので不要となります。

ドレンアップメカ

● PAC-SH83DM ● PAC-SH84DM

使用目的 / 用途



- “ドレンアップメカ” は、ドレンを天井裏経由で排出したい場合、あるいはドレン配管の横引き距離が長く、ドレン勾配が取れない場合に使用する部品です。
- 室内ユニット内蔵タイプなので意匠を損ないません。
※本品を取り付けた場合、ドレン配管・冷媒配管共に上側の取り出しとなります。

注意

- ・排水側は下り勾配（1/100以上）としてください。
- ・本品から外部に至るその間で、ドレン配管は全て断熱を施してください。

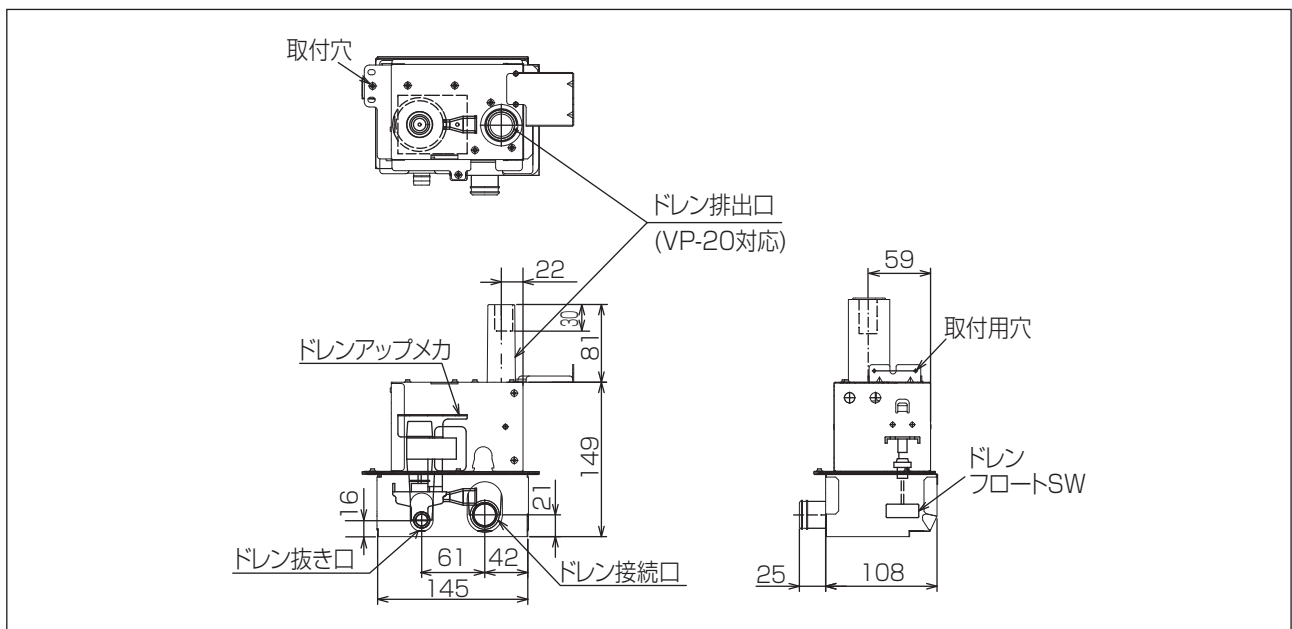
対象ユニット

- PAC-SH83DM : PC-RP40 ~ 63KA(L)17
- PAC-SH84DM : PC-RP71 ~ 160KA(L)17

仕様

形名	PAC-SH83DM	PAC-SH84DM
適用機種	PC-RP40 ~ 63KA(L)17	PC-RP71 ~ 160KA(L)17
定格電源	単相 200V 50/60Hz	
消費電力	12/10.8W	
運転電流	0.126/0.102A	
ドレン揚程	室内ユニット上面より最大 600mm	
吐出水量	24 ℓ/h 以上	
使用環境条件	液体温度	0 ~ 50℃（凍結なきこと）
	周囲温度	-10℃ ~ 50℃
	周囲湿度	RH95%以下
駆動用モーター	くま取り形（E種絶縁）	
ドレン配管	ドレン排出口へ接続 PVC管 VP-20（外径φ 26）対応	
付属品	アタッチメント、ネジ（4 × 10）、VP-20管、パイプカバー、フレキシブルホース、ファスナー L字管（液管・ガス管）、断熱材（L字管用）	

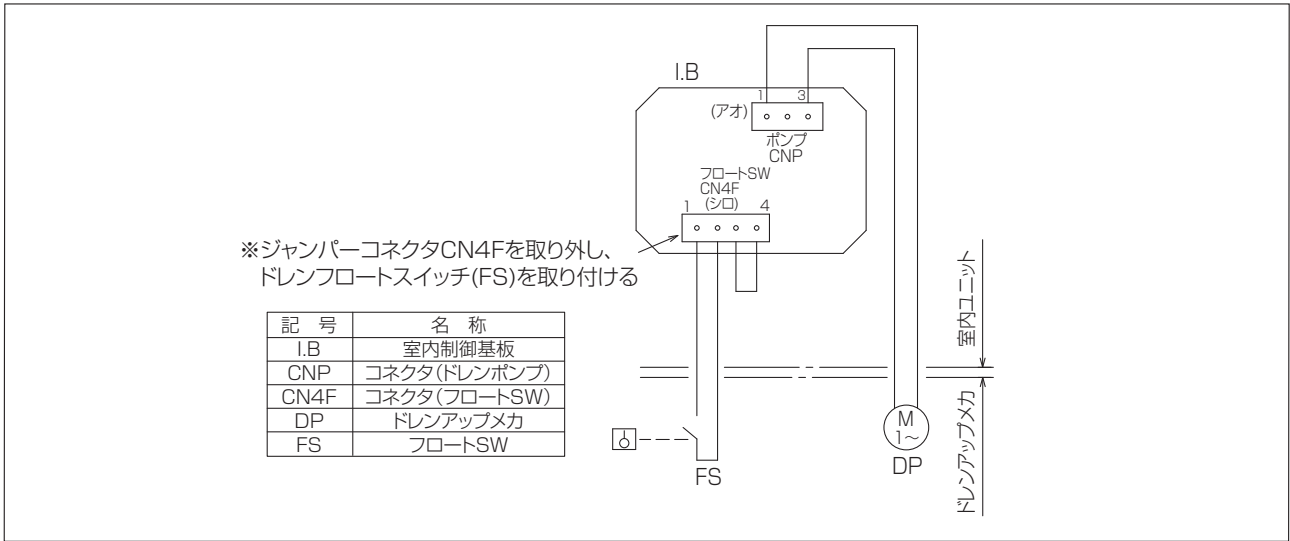
外形図（単位：mm）



ドレンアップメカ

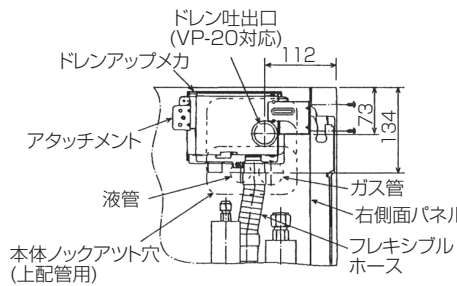
● PAC-SH83DM ● PAC-SH84DM

電気配線図



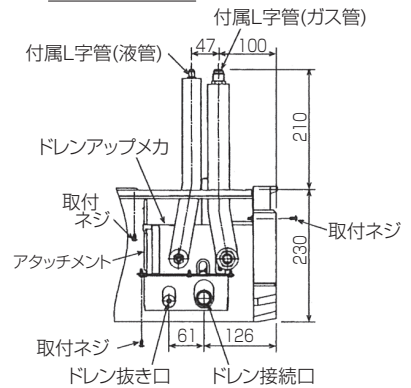
取付状態図 (単位: mm)

天面から見る



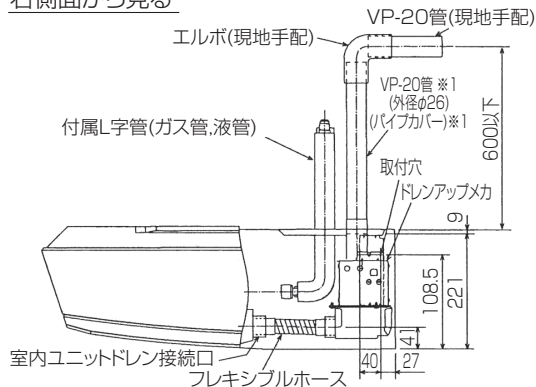
	ガス管	液管	ドレンアップメカ形名
40~63形	φ12.7	φ6.35	PAC-SH83DM
71~160形	φ15.88	φ9.52	PAC-SH84DM

正面から見る

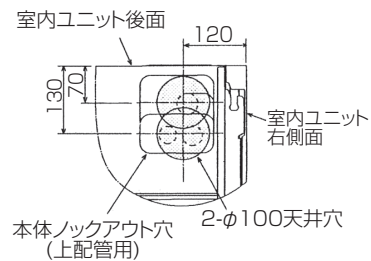


※1 揚程が高く、付属VP-20管、パイプカバーの長さが不足する場合は、現地にて手配してください。

右側面から見る



天井穴位置



(本マニュアル用に変更・修正しています)

RG79V860H04



三菱電機パッケージエアコン別売部品
※据付け前に本説明書と室内ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。

形名 PAC-SH83DM 天吊Kタイプドレンアップメカ
PAC-SH84DM 据付工事説明書

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

●据付け(移設)・電気工事をする前に

- 警告** 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付工事をされ不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 警告** 据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に進行。
据付工事に不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 注意** 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に進行。
不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
接続部の断熱施工は気密試験後に行ってください。
- 注意** ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように断熱処理すること。
配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

1.付属部品のご確認

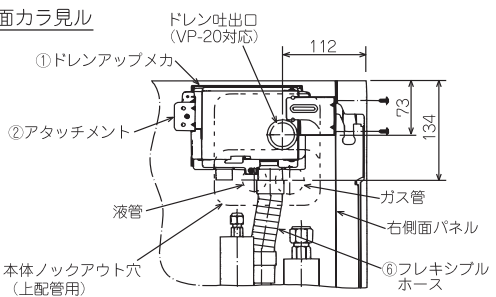
※下記部品が付属されておりますので、取付け前に確認ください。

①ドレンアップメカ	②アタッチメント	③ネジ(4×10)	④VP-20管	⑤パイプカバー	⑥フレキシブルホース	⑦ファスナー	⑧L字管(ガス管)	⑨L字管(液管)	⑩断熱材A	⑪断熱材B
x1	x1	x6	x1	x1	x1	x1	x1	x1	x2	x2

2.ドレンアップメカ取付け状態図

- このドレンアップメカは、室内ユニット内部に取り付けて使用するものです。
- ドレンアップメカ取付けにより、ドレン配管・冷媒配管共に上側の取出しとなります。
- ドレンアップメカ取付けは、室内ユニットを吊り込む前に行なう方が容易にできます。

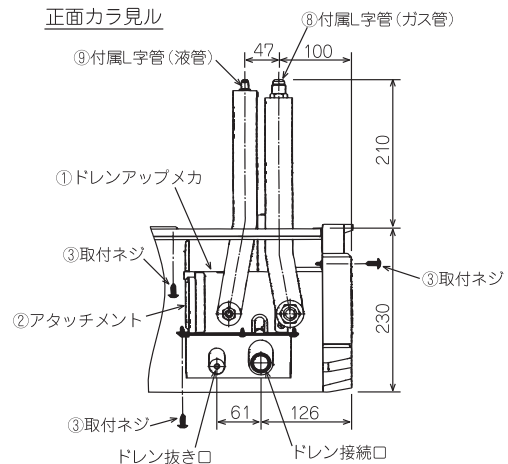
天面カラ見ル



〈表1〉

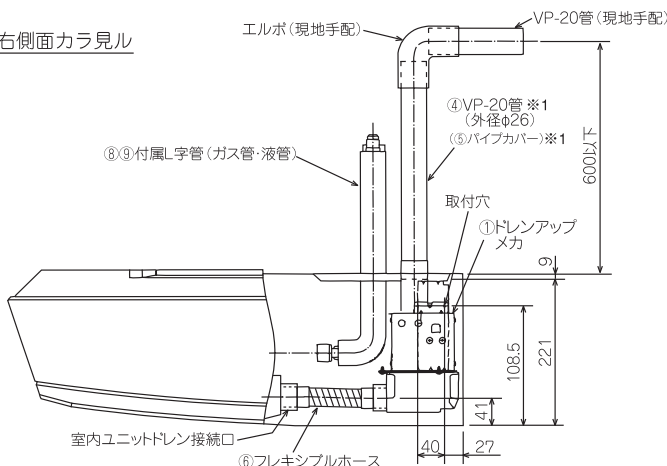
	ガス管	液管	ドレンアップメカ形名
40～63形	φ12.7	φ6.35	PAC-SH83DM
71～160形 P3～P5形	φ15.88	φ9.52	PAC-SH84DM

正面カラ見ル

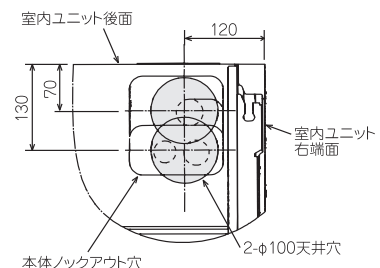


※1 揚程が高く、付属VP-20管④、パイプカバー⑤の長さが不足する場合は、現地にて手配してください。

右側面カラ見ル



天井穴位置



6.電気配線工事

*室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照ください。
*電源がOFFであることを確認して作業してください。

- 1.ビームを取り外す
- 2.電気品カバーを取り外す
- 3.電気品箱を下に引き降ろす
- 4.ドレンアップメカ①のリード線を、室内ユニット前面基板のONP, CN4Fコネクタに接続する
- 5.電気品箱内でリード線がばらばらにならないように付属のファスナー②で縛り付ける
- 6.電気品箱工事完了したら電気品箱、カバー、ビーム等を元通りに取付ける

7.試運転

*試運転により排水が確実にこなれていること、各接続部からの水漏れのないことを確認してください。

*室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照してください。

- 1.注水作業
 - 吹出口よりドレンパンに約1リットルが注水する
- 2.試運転
 - ① 電源を入れる
 - ② リモコンの 運転 ボタンを2秒押し
 - ③ リモコンの 運転 ボタンを押し続けて冷房する

*ドレンアップメカが作動して排水します

 - ④ 排水確認する
 - ⑤ リモコンの 運転/停止 ボタンを押して試運転を解除する
 - ⑥ 電源を切る
- 3.確認後、部品を元通りに取付ける

*壁際スペースにドレンアップメカを取付けた場合は、必ずドレン抜きを行ってください。
また、ドレン抜き後はドレンプラグを元通りに塞ぎ込んでください。

5.ドレン配管工事

*1. 掘削が高く、付属VP-20管④、パイプカバー⑤の長さが不足する場合は、現地に手配してください。
*配管手順詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照ください。

- 1.付属VP-20管④をドレンアップメカ①のドレン吹出口に掘ヒ茶接着剤を塗布して差し込む (差し込み代 30mm) ※1
- 2.付属VP-20管④と現地 ドレン配管を90°エルボ等を使用し接続調整する
- 3.付属パイプカバー⑤をVP-20管④に巻く ※1

*ドレンアップカバーが上付外側に至る傾斜は全て表向きに確保してください。

4.冷媒配管工事

*配管手順詳細は、室内ユニット、室外ユニットの据付工事説明書を参照ください。

- 1.付属の冷媒管 (ガス管、液管) ⑧のフレアシート面にエタール油またはエタール油またはアルキルベンゼンを塗布する
- 2.室内ユニットのフレアナット及びキャップを取り外す
- 3.室内ユニット側接続部のフレアシート面にエタール油またはアルキルベンゼンを塗布する
- 4.付属の冷媒管 (ガス管、液管) ⑧を素早く接続
- 5.現地配管と付属冷媒管の両方をフレアナットを締め付けて接続する
- 6.各接続部と付属冷媒管を両向きに接続する
- 7.各接続部に断熱材を巻き付ける

【冷媒配管接続完了後】

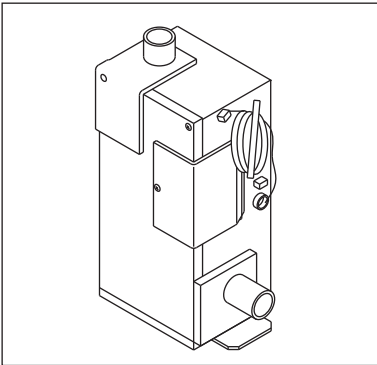
- 8.室外ユニットのストロップバルブポート口から真空引きを行う
- 9.上記ストロップバルブ (液、ガス) を完全に閉じる

*ストロップバルブの取扱い方は、室外ユニットに表示してあります。

ドレンアップメカ

● PAC-KM33DM

使用目的 / 用途



- 本品は天吊形〈PC-RP・BA17/CA17形〉のドレンアップメカです。
- ドレン勾配が取れない場合にご使用ください。

注意

- ・ ドレン配管は確実に排水するように配管し、結露が生じないように保温してください。

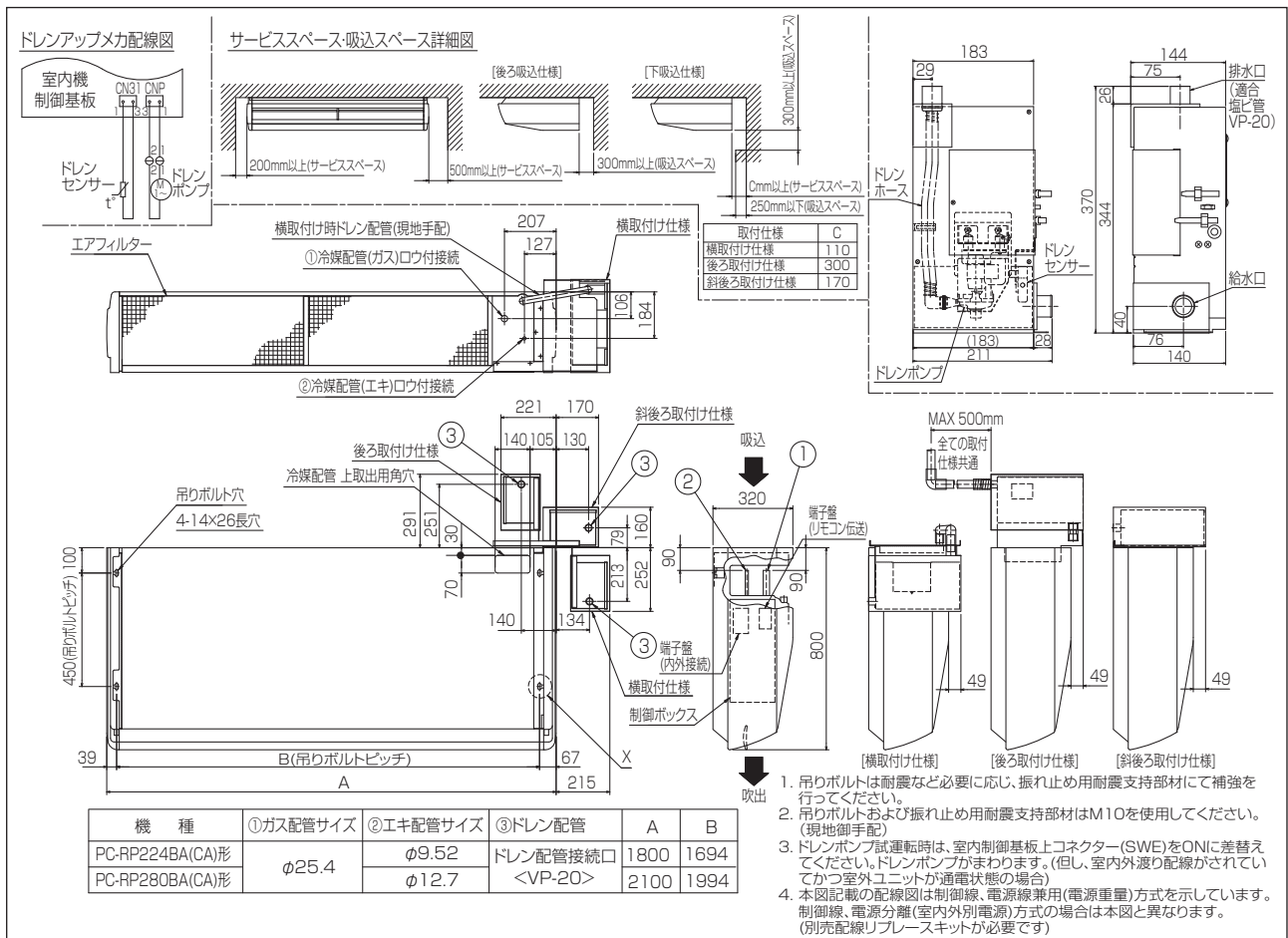
対象ユニット

- PC-RP224・280BA17/CA17

仕様

形名	PAC-KM33DM
電源	単相 200V 50/60Hz
消費電力	8/7.5W
保護装置	液面検知器, オーバーフロー防止機能
ドレン配管	ドレンホース VP-20
揚程	500mm

外形図 (単位: mm)



(本マニュアル用に変更・修正しています)



三菱電機エアコン別売部品 ドレンアップメカ
PAC-KM33DM

取付説明書

△ 注意
適用機種を必ず確認し、取付け間違いのないようにお願いします。

WT06159X02

1. 部品 この箱の中には、この説明書の他に下表に示す部品が入っていますのでご確認ください。

注. ドレンアップメカ本体①と化粧カバー⑦はネジ止めして梱包されています。

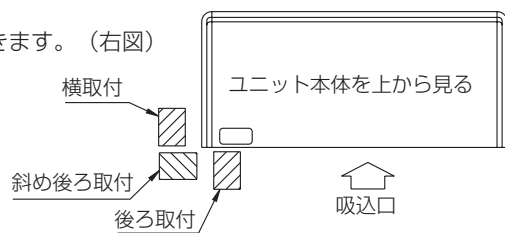
取付作業を行う前にネジを取外してください。

	①ドレンアップメカ本体	②トリツケイタ1	③トリツケイタ2	④トリツケイタ3	⑤ホキョウ1	⑥ホキョウ2	⑦化粧カバー	⑧ドレンホース1	⑨ドレンホース2
個数	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個
形状								長さ=340mm 	長さ=375mm
	⑩ツギテ	⑪ハイゼンミタテ	⑫バンタイ	⑬シールテープ	⑭ホースバンド	⑮PTTネジ4x10	⑯プラスネジ4x12	⑰ザツキタッピンネジ5x10	
個数	1個	1個	2個	2個	3個	4個	4個	8個	
形状									

2. 取付要領 この別売部品は、取付位置を3カ所から選択できます。(右図)

注1. 作業を行う前に必ず主電源のOFFを確認してください。

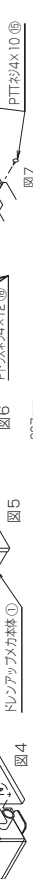
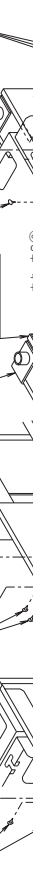
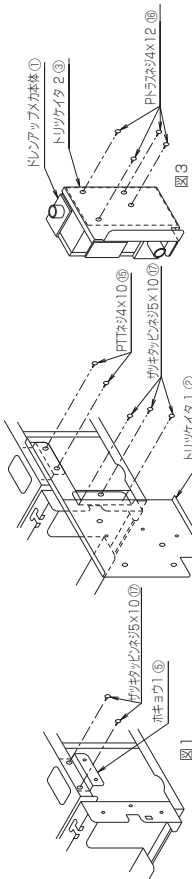
2. 作業は必ず軍手・腕指し等保護具をつけて行ってください。



1. ドレンアップメカの取付

下表の作業手順に従って取付けてください。
取付位置によっては手順が必要になりますのでご注意ください。
(①、②、③、④…の順番で作業してください。)

手順	作業内容	図解
①	右側のサイドパネルを撤去してください。(ネジ2本)	図1
②	ホキョウ①を本機後ろ向きに取付けてください。	図2
③	トリックイタ②を本機後ろ向きに取付けてください。	図3
④	ドレンアップメカ本体①にドレンアップ管を、トリックイタ②に取付けてください。	図4
⑤	前面目録で指定したドレンアップ管を、トリックイタ②に取付けてください。	図5
⑥	ドレンアップメカ本体①にトリックイタ②を取付けてください。	図6
⑦	前面目録で指定したドレンアップ管を、本機後ろ向きに取付けてください。	図7
⑧	ホキョウ②を、本機後ろ向きに取付けてください。	図8



2. ドレンホースの取付

[1] 集取付の場合

- 図8に示す形状の配管を用いてください。(単手配品)
- 本体ドレン管に本体付属のユニールチューブ(付属品)を取付けてください。…図9
- ドレンアップメカ本体①のドレン排水口にツギ子②を取付け、1)で用意したドレン管を取付けてください。…図9

注1. 接続口(2カ所)は、全面を塩化ビニル樹脂材にて被覆し、確実に水漏れの無いよう取付けてください。

注2. 接続口は、ホースバンド④にて固定(2カ所)してください。(ホースバンド④のネジ部分は、上にして固定してください。)

注3. 以上完了後、ドレン配管部に断熱バップを巻き充分に断熱処理をしてください。

[2] 斜め後ろ取付の場合

- 本体ドレン管と、ドレンアップメカ本体①のドレン排水口をドレンホース②にて接続してください。…図10
- 接続口(2カ所)は、全面を塩化ビニル樹脂材にて被覆し、確実に水漏れの無いよう取付けてください。
- 接続口は、ホースバンド④にて固定(2カ所)してください。(ホースバンド④のネジ部分は、上にして固定してください。)
- 以上完了後、ドレン配管部に断熱バップを巻き充分に断熱処理をしてください。

[3] 後ろ取付の場合

- 本体ドレン管と、ドレンアップメカ本体①のドレン排水口をドレンホース①③にて接続してください。…図11
- 接続口(2カ所)は、全面を塩化ビニル樹脂材にて被覆し、確実に水漏れの無いよう取付けてください。
- 接続口は、ホースバンド④にて固定(2カ所)してください。(ホースバンド④のネジ部分は、上にして固定してください。)
- 以上完了後、ドレン配管部に断熱バップを巻き充分に断熱処理をしてください。

[3] 電気配線

- 制御箱カバーを撤去してください。(ネジ2本)
- ドレンアップメカ本体①のコネクター(白)を差し込み、配線をケーブルストラップで固定(1カ所)してください。…図12
- ハイセンタマ①およびセパ配線の箇所は、本体後ろの開口部から制御箱へ入りまわしてください。
- 制御箱の配線接続は図13を参照してください。
- ハイセンタマ①のコネクター(青)を制御箱上のコネクター(CNP)、セパ配線のコネクター(白)を制御箱上のコネクター(CN3)へ、それぞれ差し込んでください。…図13
- 制御箱カバーの配線穴からハイセンタマ①およびセパ配線を貫通させた後、制御箱およびセパ配線を貫通させた後、制御箱カバーを元より取付けてください。…図13 (ハイセンタマ①およびセパ配線の長さが決った場合はセパ②にて調整結果してください。)

[4] ドレン配管

- ドレンアップメカ本体①の排水口と、硬質塩ビパイプVP20 (単手配) を塩化ビニル樹脂材にて被覆し、確実に水漏れの無いよう接続してください。…図14
- 接続部はツギ子③を巻き付けてください。…図14

注1. 立ち上げ寸法は、500mm以上にしないように施工してください。500mm以上になると、運転停止時におけるドレン水の逆流が多くなり、オーバーフローの原因になることがあります。

注2. 以上完了後、ドレン配管部に断熱バップを巻き充分に断熱処理をしてください。

注3. ドレン配管の施工が下図のようにならないように注意してください。水漏れおよび腐食の原因になることがあります。

注4. ドレン配管の傾斜は必ず100分の1以上の勾配をとってください。

ドレンパイプの取上げ ドレン配管の傾斜 断熱不良

[5] 試運転

- 本体の電気工事、配管工事が完了してから行ってください。
- 水中ポンプなどを使用し注水される場合は、注水量が0.4ℓ/min以下になるよう注水量を調整してください。
- 注水量が多いと室内ユニットからの水漏れやドレンポンプの故障原因につながる可能性があります。
- 室内ユニット本体の電源を入れてドレンポンプが運転し、ドレンアップメカ本体①のドレン管内の水が排水されていることを確認してください。
- 確認後、ドレンアップメカ本体①に化粧カバー⑦を取付けてください。…図15
- 右側のサイドパネル(ネジ)を取り付けてください。

(本図は斜め後ろ取付の場合を示します。横取付・後ろ取付の場合も同様に取付けてください。)

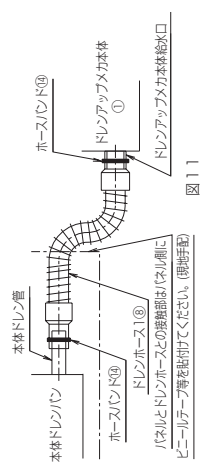


図11

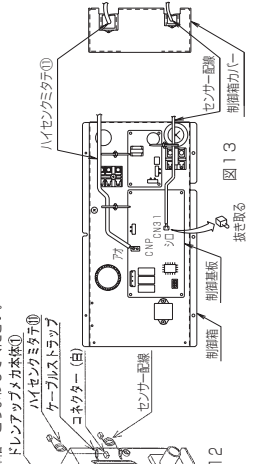


図12

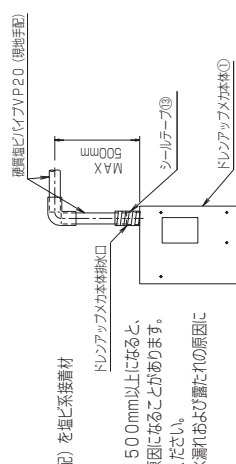


図13

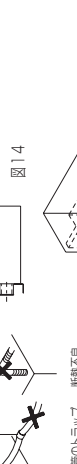


図14

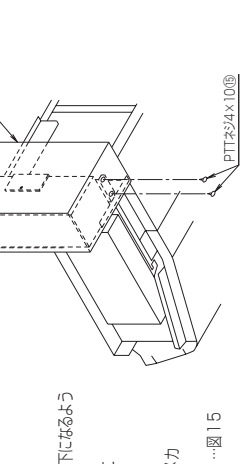
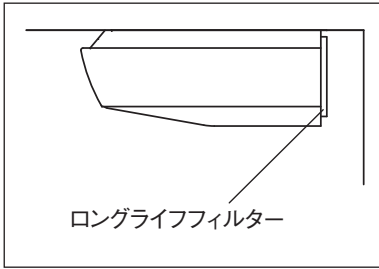


図15

ロングライフフィルター

● PAC-KB18LAF ● PAC-KB19LAF

使用目的 / 用途



●“ロングライフフィルター”は、室内ユニットの粗塵進入を防止する長寿命仕様のフィルターです。

対象ユニット

- PAC-KB18LAF : PC-RP224BA17/CA17
- PAC-KB19LAF : PC-RP280BA17/CA17

仕様

形名	PAC-KB18LAF	PAC-KB19LAF
材質	不織布	
寸法	(734 × 261 × 20mm) × 2	(734 × 261 × 20mm) × 1、(1035 × 261 × 20mm) × 1

外形図 (単位: mm) / 電気配線図

注1. 吊りボルトは耐震など必要に応じ、振れ止め用耐震支持部材にて補強を行ってください。
 注2. 吊りボルトおよび振れ止め用耐震支持部材はM10を使用してください。(現地御手配)

サービススペース-吸込スペース詳細図

機種	A	B	①ガス配管サイズ	②液配管サイズ	③ドレン配管	ロングライフフィルタ形名
PC-RP224BA17 PC-RP224CA17	1800	1694	φ25.4	φ9.52	ドレン配管接続口 ジョイントケット VP-20<付属>	PAC-KB18LAF
PC-RP280BA17 PC-RP280CA17	2100	1994		φ12.7		PAC-KB19LAF


天
吊
形


(本マニュアル用に変更・修正しています)


三菱電機パッケージエアコン別売部品 PAC-KB18LAF (PCA(G)-J224)
PAC-KB19LAF (PCA(G)-J280・8・10)


ロングライフフィルター取付説明書

注意

- 

フィルター着脱のときは不安定な台に乗らない。
●落下・転倒によるケガの原因になることがあります。
- 

フィルター着脱には、保護具（メガネなど）を着用する。
●目にゴミが入り、ケガの原因になることがあります。
- 

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る。
●運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になることがあります。
- 

ユニット内部の金属エッジに素手で触れない。
●ケガの原因になることがあります。

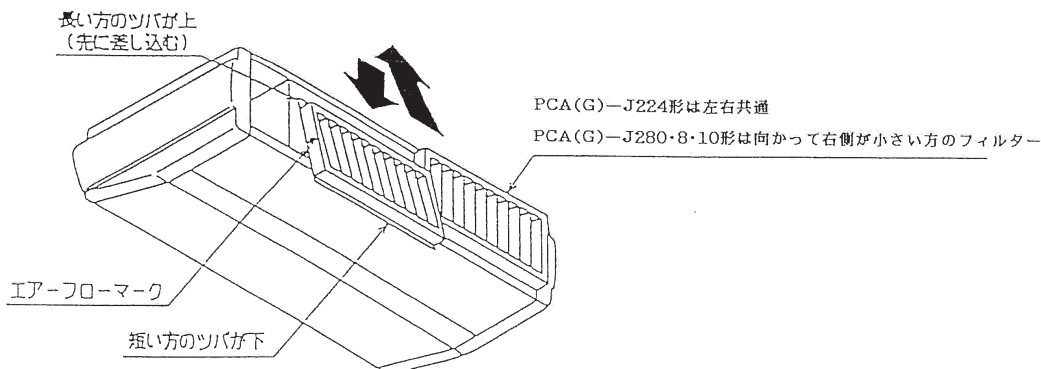
1. 部品

ロングライフフィルターは2個で1セットとなっておりますので、個数をご確認ください。

2. 取付け

- (1) 標準のエアフィルターを取り外してください。
- (2) ロングライフフィルターを下図のように、障子を入れる要領で上側を先に差し込み、下のレールに落とし込んでください。

※取付方向に注意してください。



3. 清掃

フィルターが目詰まりすると冷暖房効果が低下し、そのまま運転を続けると故障の原因になります。このロングライフフィルターは通常の使用環境で約2500時間清掃不要ですが、使用環境によって汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

●清掃要領

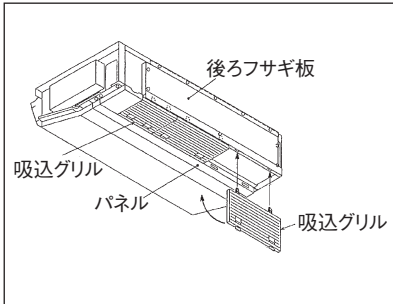
- (1) ロングライフフィルターをユニットから取り外す。
- (2) 通常は水で、汚れがひどい場合は中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗う。
※50℃以上の熱い湯で洗わないでください。変形の原因になります。
- (3) 陰干しする。
※直射日光や直火で乾かさしないでください。変形、変色の原因になります。
- (4) 元通りユニットに取り付ける。

WT08308X01

下吸込用ボックス

● PAC-KB76TB ● PAC-KB77TB

使用目的 / 用途



●“下吸込用ボックス”は、天吊形〈PC-RP・BA17/CA17〉で、下吸込仕様に
変更するための部品です。

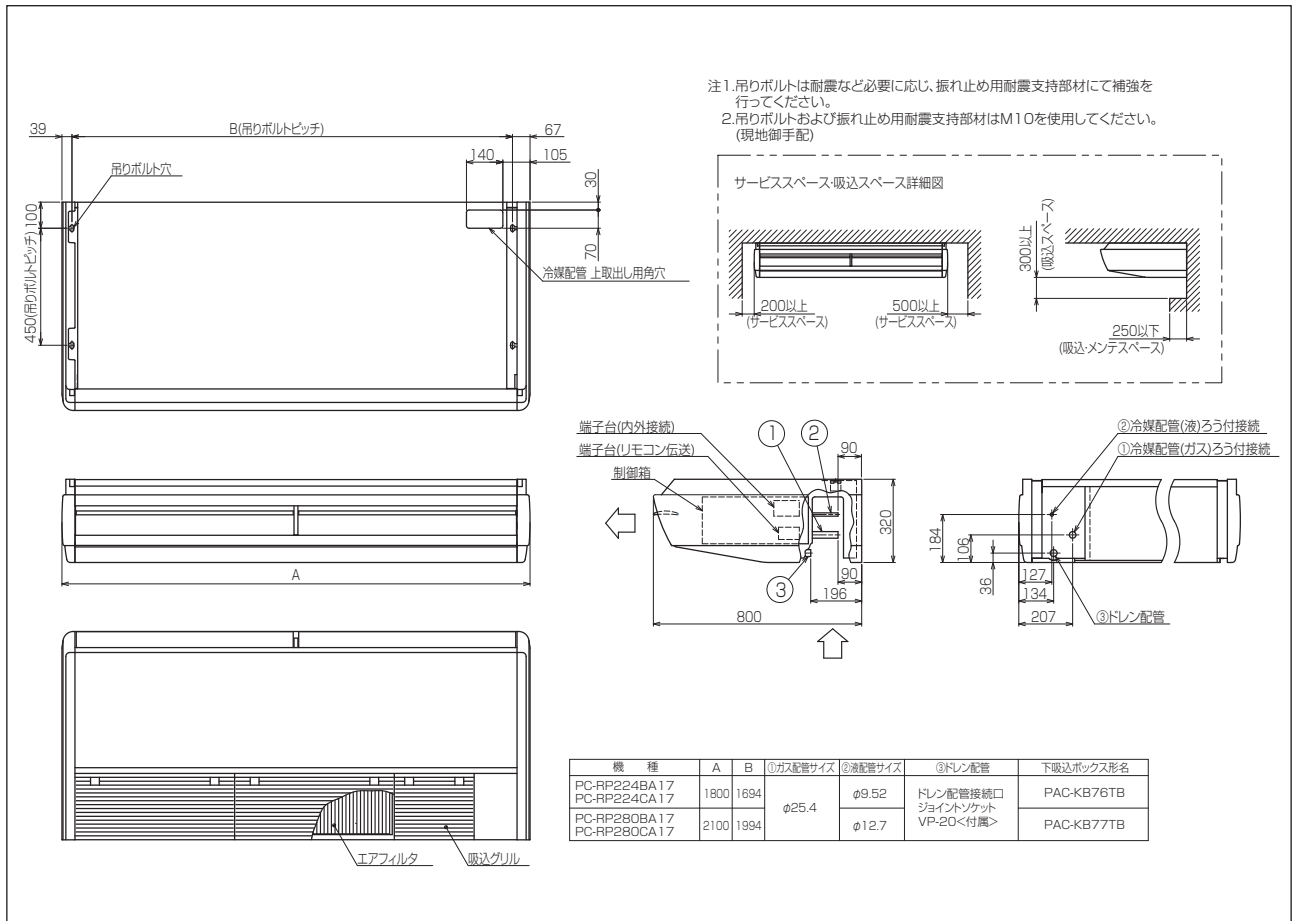
対象ユニット

- PAC-KB76TB : PC-RP224BA17/CA17
- PAC-KB77TB : PC-RP280BA17/CA17

仕様

形名	PAC-KB76TB	PAC-KB77TB
材質	溶融亜鉛メッキ鋼板、アロイ鋼板	

外形図 (単位: mm)



天
吊
形

下吸込用ボックス :PAC-KB76TB, KB77TB

(本マニュアル用に変更・修正しています)

取付説明書

三菱電機 パッケージエアコン別売部品(PCH-J224, J280BA)
取付説明書 **PAC-KB76,77TB**

適用機種:PAC-KB76TB-PCH-J224BA, PAC-KB77TB-PCH-J280BA



WT07436X01

警告

- ❌ 吸込口・吹出口に布や棒などを入れない。特にお子様にご注意を！
※布でファンが回って回してあり、ケガの原因になることがあります。
- ❌ 取付には、販売店または専門業者に依頼する。
※ご自分で取付作業をされた場合、火災・感電・水漏れ等の原因になります。
- ❌ 格付工事は、取付(取付)説明書に従って確実に行う。
※取付に不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。
- ❌ お客様自身で分解・修理・移設はしない。
※修理・移設や分解があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。
※取付口の配線は必ず専門業者に依頼してください。

注意

- ❌ フィルター掃除のときは不安定な台に乗らない。
※落下、転倒によるケガの原因になることがあります。
- ❗ フィルター掃除には、保護具(メガネなど)を着用する。
※目にゴミが入り、ケガの原因になることがあります。
- ❗ 清掃のときは電源を止め、電源スイッチを切る。
※電源がファンが回って回してあり、ケガの原因になることがあります。
- ❌ ユニットの内部の金属エッジに素手で触れない。
※ケガの原因になることがあります。

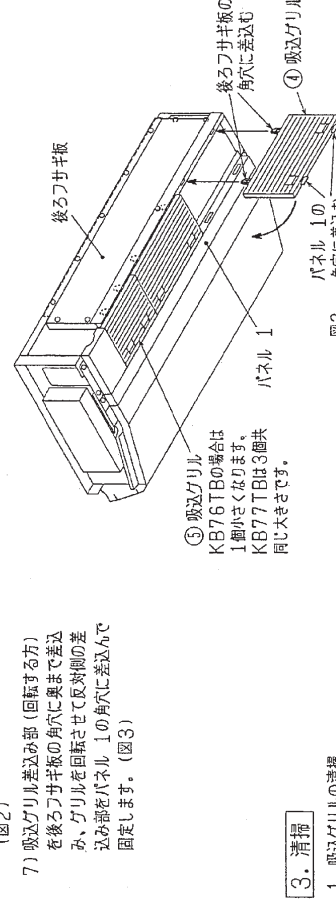
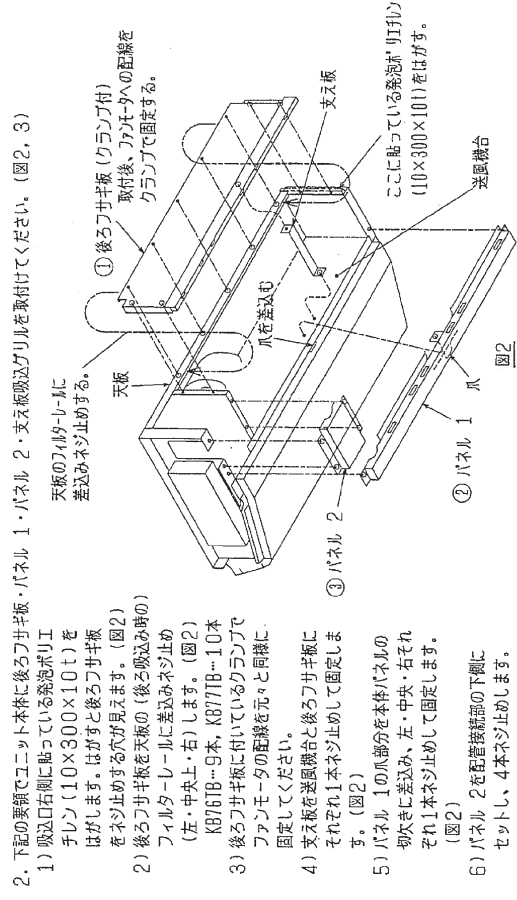
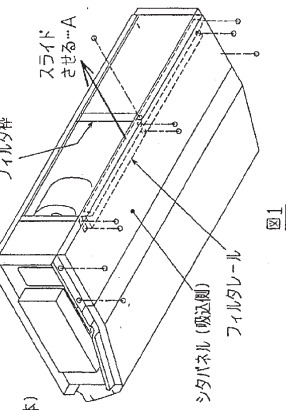
1. 部品

この箱の中には、この説明書他に下表に示す部品が入っていますのでご確認ください。

個数	① 後ろフタ板	② パネル 1	③ パネル 2	④ 吸込グリル	⑤ 吸込グリル	⑥ 支え板	⑦ ネジ
76TB形	1個	1個	1個	2個	1個	1個	20個
77TB形	1個	1個	1個	3個	1個	1個	20個
形状							

2. 取付要領

- 注1. 作業を行う前に必ず主電源のOFFを確認してください。
- 注2. 作業は必ず手・腕指し等保護具をつけて行ってください。
1. 下記の要領で本体からフィルター(吸込側)・フィルタ枠・フィルタ枠・フィルタ枠を取り外してください。(図1)
- 1) フィルタ枠は上向きに持ち上げて手前に引き出します。サイドパネルを取付けた場合はサイドパネルも取り外してください。
- 2) シタパネル(吸込側)をネジ5本(両サイド下面より1本、吸込側より1本)を外して吸込口方向にスライドさせて取り外します。※図1A部
- 3) フィルタ枠をネジ2本(吸込側中央下面より2本)を外し、上側の引っ掛けを外して取り外します。
- 4) フィルタ枠をネジ3本(吸込側左下面より2本、吸込側右下面より1本)を外して取り外します。



2. 下記の要領でユニット本体に後ろフタ板・パネル 1・パネル 2・支え板吸込グリルを取付けてください。(図2, 3)

- 1) 吸込口右側に貼っている発泡ホリ工チレン(110×300×10t)をはがします。はがすと後ろフタ板をネジ止めする穴が見えます。(図2)
- 2) 後ろフタ板を天板の(吸込側)の穴に差し込み、ネジ止め(左・中央・右)します。(図2)
- 3) 後ろフタ板に付いているクランプでファンモータの配線を元と同じように固定してください。
- 4) 支え板を送風機台と後ろフタ板にそれぞれ1本ネジ止めして固定します。(図2)
- 5) パネル 1の爪部分を本パネルの切欠きに差し込み、左・中央・右それぞれ1本ネジ止めして固定します。(図2)
- 6) パネル 2を配管接続部の下側にセットし、4本ネジ止めします。(図2)
- 7) 吸込グリルを吸込グリル(回転する方)を後ろフタ板の角穴に奥まで差し込み、グリルを回転させて反対側の差し込み部をパネル 1の角穴に差し込み固定します。(図3)

3. 清掃

1. 吸込グリルの清掃
 - 1) 吸込グリルをユニットから取り外します。
 - 2) 柔らかい布で軽く拭くように水洗いしてください。中性洗剤を使う場合は、洗剤が残らないようによく水洗いしてください。
 - 3) 陰干しします。※直射日光や直接火気などで乾燥させないでください。変形や変色の原因となります。
 - 4) 吸込グリルを元通りユニットに取り付けます。
2. フィルタの清掃
 - 1) 吸込グリルを開き、フィルタを引上げて取り外します。
 - 2) 掃除機で吸い取るか水洗いしてください。汚れがひどい時は中性洗剤を溶かしたぬるま湯ですすいでください。※50℃以上の熱い湯で洗わないでください。変形の原因となります。
 - 3) 水洗いした後、陰干しします。※直射日光や直接火気などで乾燥させないでください。変形や変色の原因となります。
 - 4) フィルタを元通りユニットに取り付けます。

※フィルタをグリルに取付ける時は、パチッと音がして引っかかりを確認してください。